

＜研究報告 三＞

東京感化院の感化教育について

— 明治 27～31 年の分析 —

古 宇 田 亮 修

はじめに

明治 18 年 10 月に高瀬真卿によって開設された私立予備感化院(約 3 ヶ月この名称で活動)は、日本で二番目の感化院と言われ、神宮教院感化院という名称の時期(約 6 ヶ月)を経て、明治 19 年 10 月に東京感化院という名称に落ち着いた。当院は、湯島両門町の浄土宗寺院称仰院(明治 18 年 10 月～22 年 7 月)の一角ならびに本郷曙町 13 番地(明治 22 年 8 月～26 年 11 月)の借地で活動した期間を経て、宮内省より無料拝借を許可された渋谷村下渋谷南豊島御料地内羽澤の土地(敷地総坪約 8,000 坪余り、現・渋谷区広尾 3-7、東京女学館の校地)において、規模を拡大して、およそ 30 年(明治 26 年(1893) 12 月～大正 12 年(1923)) にわたり感化事業を展開してきた。

当院については、東京感化院の活動を継承した社会福祉法人錦華学院(東京都練馬区小竹町、現在は児童養護施設)に多量の一次史料群が保管されており、その全容解明が俟たれている。当研究所では、これらの史料の調査・研究を 2004 年以来おこなっており、2005～07 年度は課題名「感化院事業の社会史的研究」で、また 2008 年度は課題名「東京感化院の総合研究」で、それぞれ日本私立学校振興・共済事業団の学術研究資金を得て共同研究を遂行してきた¹。本稿もその

¹ 筆者が関わった研究成果としては、『東京感化院関係史料集(長谷川仏教

(2)

一成果であり、研究員の諸氏より史料の提供ならびに御教示を頂戴したことを厚く御礼申し上げるものである。

1. 問題の所在

渋谷村羽澤における東京感化院が、どれほどの規模で、どのような感化教育をおこない、そして院生（生徒や感化生とも呼ばれる）がどのような感化成績を残したか、すなわちどれほど感化教育の成果を挙げられたかという点については、明治30年に在籍した一部の院生を除いては²、従来、東京感化院が公開した報告書（たとえば『東京感化院経理一斑』、明治36年発行）に基づいて推測されるにとどまってきた。

筆者は前稿³において明治28年の昇等記録の一覧表を作成したが、それにより、個々の院生の昇等ペースや、昇等式ごとの在院者数等を確定することが可能であることが判明した。したがって、本稿ではその方法論を基礎として、期間を明治27年～31年の5年間に拡大し、分析項目（年齢や退院後の行状⁴等）を追加することにより、この間に東京感化院がおこなった感化教育の解明に資することを意図した。

2. 基礎史料

まとまった史料としては、以下の4種が存在する。

文化研究所年報別冊』(1)～(8)、2006～08の刊行が挙げられる。これは今後も継続して刊行する予定である。

² 明治30年については、土井直子「東京感化院における感化事業実践：明治三十年の実践に関する考察」『長谷川仏教文化研究所年報』第32号（下）、2008、pp.107-129がある。

³ 「明治二八年の東京感化院：渋谷村羽澤における運営と感化教育」『長谷川仏教文化研究所年報』第32号（下）、2008、pp.71-105。

⁴ これは、主に東京感化院が公刊した報告書である『東京感化院雑記』に公開されたものに基づいている。

- ①東京感化院の院務日誌類 41 冊（明治 20 年～大正 12 年）：錦華学院所蔵⁵
- ②『東京感化院雑記』第 1～11 号（明治 27 年 2 月～明治 31 年 5 月）：国立国会図書館所蔵
- ③『東京感化院月報』第 1～66 号（うち 55 号分現存）（明治 32 年 4 月～明治 41 年 11 月）：錦華学院所蔵
- ④『明治廿七年一月改 品行表章 家族等級簿 監督所』：錦華学院

⁵ 以下に標題のみ記す。1. 「明治廿年一月 日誌 第三号 東京感化院」。2. 「明治廿一年一月 日誌 第四号 東京感化院」。3. 「明治廿三年一月 日誌 東京感化院事務所」。4. 「教授所日記 明治廿四年一月起」。5. 「明治廿五年一月 日誌簿 東京感化院事務所」。6. 「明治廿六年 日誌簿 東京感化院事務所」。7. 「視察所日記 明治廿六年七月改」。8. 「明治廿七年 日誌簿 東京感化院院司」。9. 「明治廿七年一月改 監督所日誌 監督所」。10. 「明治廿八年 日誌簿 東京感化院々司」。11. 「明治廿八年八月起 日記 幼年家族」。12. 「明治廿九年 日誌簿 東京感化院院司」。13. 「明治廿九年第一月起 日記 幼年家族」。14. 「明治三十年一月 監督所日記」。15. 「明治三十年一月起 少年家族の誌 族長用」。16. 「明治三十一年一月 教務科日記」。17. 「明治三十一年一月起 日誌簿 保存 東京感化院」。18. 「明治三十二年一月起 日記 教務科」。19. 「明治三十二年一月起 日誌 東京感化院」。20. 「明治三十三年一月起 日記 教務科」。21. 「明治三十四年一月起 日記 教務科」。22. 「明治三十四年一月起 当直日誌 東京感化院」。23. 「明治三十六年度 日記 教務課」。24. 「明治三十七年一月・明治三十八年一月度 日誌 庶務課」。25. 「明治三十七年度・同三十八年度 日誌 教務課」。26. 「明治三拾八年一月起 日誌 第壹号」。27. 「明治三十八年十月起 日誌 第貳号 家族」。28. 「明治三十九年度 日記 教務課」。29. 「明治三十九年度 日誌 庶務課」。30. 「明治三十九年十一月起 日誌 貳号 家族寮」。31. 「明治四拾年四月一日以降～全四十一年十二月終 教務日誌 教務課」。32. 「明治四拾壹年 日誌 家族」。33. 「明治四十二年 日誌 東京感化院」。34. 「明治四十二年 日誌 家族」。35. 「明治四十三年度 日誌 東京感化院」。36. 「明治四十三年 日誌 一月起 家族」。37. 「明治四拾四年 日誌 東京感化院」。38. 「明治四十四年一月記 日誌 自明治四十四年一月～至同四十五年四月三十日 家族寮」。39. 「明治四十五年五月起日誌 自大正元年八月至同二年一月 第二号 家族寮」。40. 「大正六～七年 日誌」。41. 「大正十二年度日誌 財団法人東京感化院」。この他に「明治三十五年一月起日誌 庶務科」の表紙のみが現存する。

(4)

所蔵

その他、錦華学院には雑多な断片類が多数所蔵されており、随意に参照したが、繁雑となるため、下記の作表において一々の出典を記さなかった。その大部分が、上に挙げた①～④であり、当該の日付部分を参照すれば容易に検索できると考えたからである。

さて、①の院務日誌の性格について述べるならば、この41冊という冊数は、この時期に実際に記載された院務日誌の総量の半分以上と考えられる。移転やその他の理由により、失われてしまった部分の大きいことを考慮しておかないと、史料の読み違えを犯しかねない。また年度や執筆者の別により、記載密度（記載分量）の差が大きいことは、『東京感化院関係史料集』を一読すれば、誰も気づくことであろう。この点で、院務日誌等の一次史料が新たに発見されれば、それにより分析結果が変動する可能性のあることをお断りしておく。

3. 分析手法

筆者は、まず④を主たる史料として、明治27～31年に在籍した院生の昇等記録を年ごとに作表化した。それが〈表7〉（東京感化院昇等記録〔明治27～31年〕）である。次に〈表7〉を基にして、①～③の情報も付加して各院生の情報をまとめたのが〈表6〉（東京感化院在院生一覧〔明治27～31年〕）である。むろん、ここではプライバシーに配慮し、院生の名前については院内でのみ用いられた感化号で記載し、また適宜伏せ字（○○）を用いた。

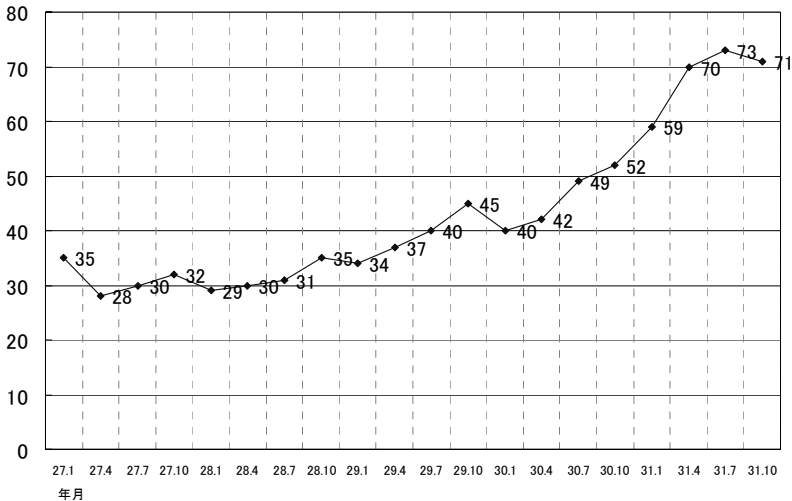
4. 分析

筆者のカウントによれば、明治27～31年に在籍した院生の総数は175人である。その一覧である〈表6〉（東京感化院在院生一覧〔明治27～31年〕）は24頁以降を参照されたい。

4-1. 在院者数の推移

この間の在院者数の推移を3ヶ月毎に計数して表にしたものが表1)である。明治27年時点(30人前後)と明治31年時点(60~70人前後)の比較では、4年間で倍以上に増えていることがわかる。この背景には、この間に設備面での収容能力が上がっていったことが大きな要因として挙げられよう。明治26年11月30日渋谷に移転してきた東京感化院においては、その時点で『東京感化院雑記』(第二号、明治27年6月発行)に描かれた「東京感化院略図」⁶の建物すべてが完成していたわけではなく、その後徐々に家族寮が増築されていったと推測される⁷。

〈表1〉 在院者数の推移 (明治27~31年)



⁶ 『東京感化院関係史料集』(2) (p. vii) に、筆者によるトレースを掲載した。

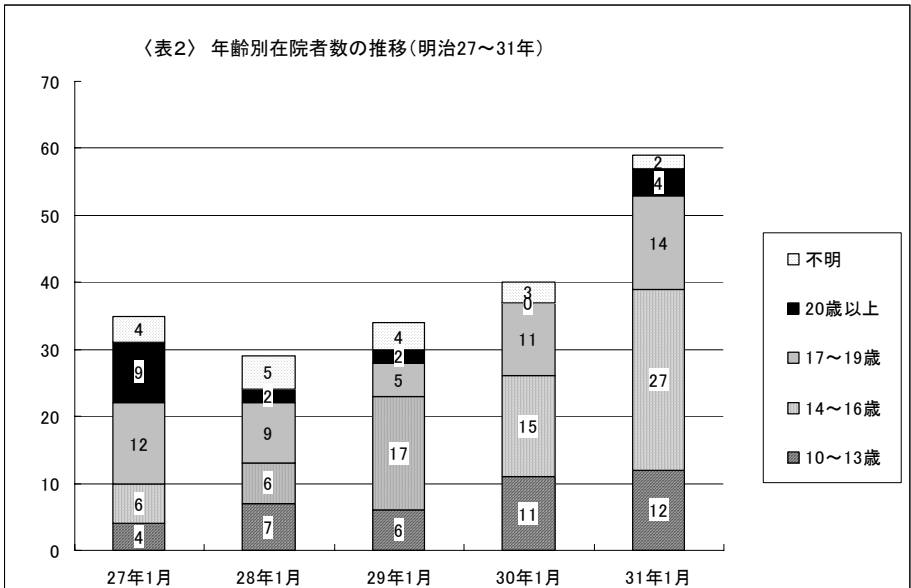
⁷ 東京感化院の建物に関する図面としては、東京都公文書館に所蔵される「東京感化院章程規則、職員：収容限度及教育方法附図面 東京感化院」に含まれるものが実態を反映している可能性が高いと考えられる。ただし、残念ながらこの史料の年代は未確定である。当史料に関しては、三好一成氏の調査によって参照が可能となったものであり、同氏に深く感謝するところである。

(6)

4-2. 年齢別在院者数

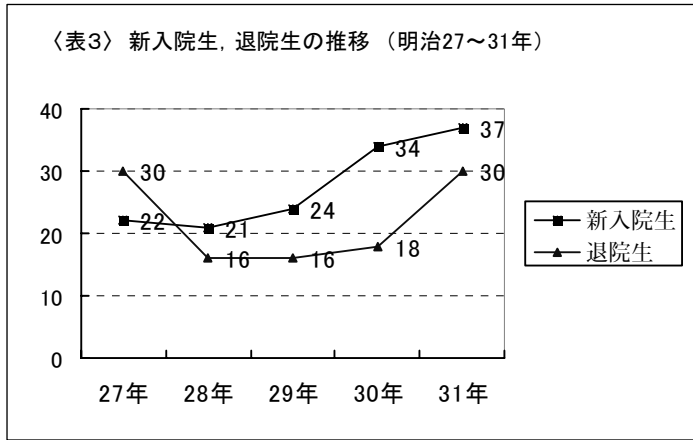
次に在院者の年齢構成を見るために作成したのが〈表2〉である。この表から読み取れることは以下の点である。

- ①10歳未満の院生は存在しなかったこと。
- ②20歳以上の院生の比率に注目すると、明治27年時点が最も高く25.7%であったが、翌28年から急激に下がり、その後は最高でも6.9%（明治31年）となっていることである。すなわち、明治28年以降、19、20歳以上の年齢の入院希望者を抑制する方針に転換したことが推測される。
- ③したがって、明治28年以降は90%以上が10代の少年であり、かれらを主な感化教育の対象としていたことが判明した。



4-3. 新入院院生, 退院生

次に、新入院生、退院生の推移を表にしたのが〈表3〉である。明治27年と28年の新入院生はほぼ横ばいであるが、その後上昇に転じ、31年には37名にまで達していることが判明した。退院生は、27年の30名以降は、16名が2年間続いたのちやや上昇し、31年に再び30名に達したことが判明した。

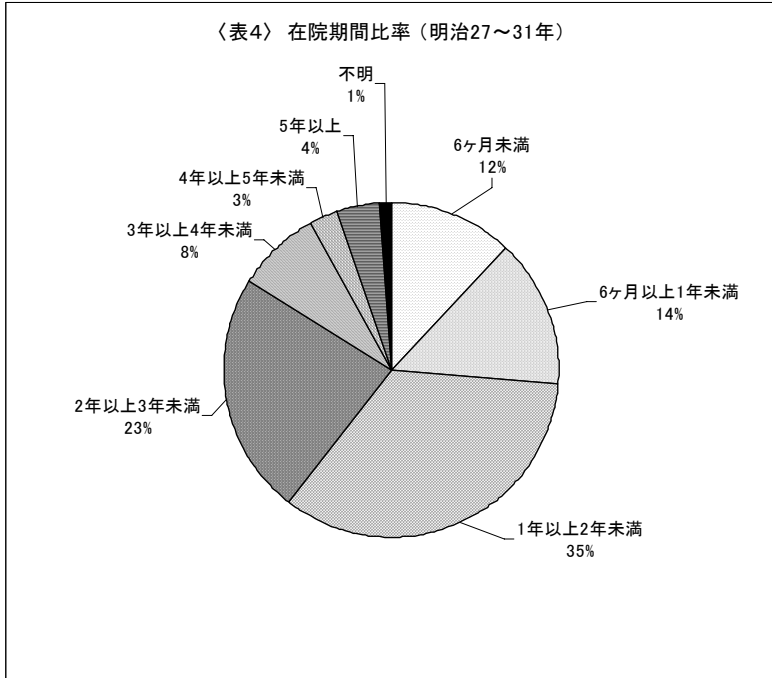


4-4. 在院期間

次に、院生の在院期間を見ることにする。複数回入院している院生については、通算の期間で計算することとした。また正確な退院日が不明でも、日誌等の記載からおおまかな退院月が推定できる場合には、それを用いた。その結果は右の数字となり、これを円グラフにしたのが〈表4〉である。

| 在院期間 | 人数 | 比率 |
|-----------|-----|-------|
| 6ヶ月未満 | 21名 | 12.0% |
| 6ヶ月以上1年未満 | 25名 | 14.3% |
| 1年以上2年未満 | 60名 | 34.3% |
| 2年以上3年未満 | 41名 | 23.4% |
| 3年以上4年未満 | 14名 | 8.0% |
| 4年以上5年未満 | 5名 | 2.9% |
| 5年以上 | 7名 | 4.0% |
| 不明 | 2名 | 1.1% |

(8)



4-5. 退院時の等級

次に退院時点における等級を見ることにする。複数回入院している院生については、最後の退院時点での等級でカウントすることにする。その結果は右の数字であり、それを表にしたのが〈表5〉である。

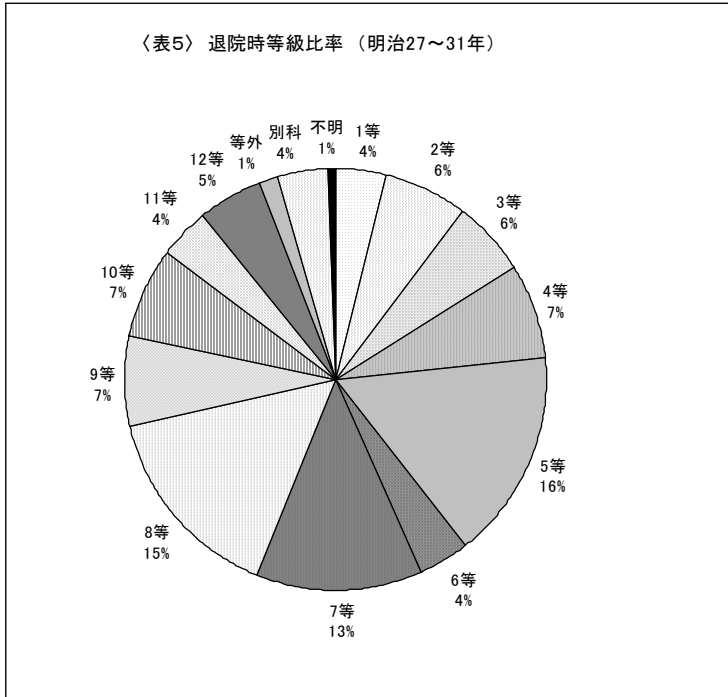
等級に関して注意しなければならないことは、必ずしも昇等す

るばかりでなく、脱院、素行不良、再入院等の理由により、降等することも数多いことである。後に掲載した在院者昇等記録においては、

| | |
|----|-----|
| 1等 | 7名 |
| 2等 | 11名 |
| 3等 | 10名 |
| 4等 | 13名 |
| 5等 | 28名 |
| 6等 | 7名 |
| 7等 | 22名 |
| 8等 | 27名 |

| | |
|-----|------|
| 9等 | 12名 |
| 10等 | 12名 |
| 11等 | 7名 |
| 12等 | 9名 |
| 等外 | 2名 |
| 別科 | 7名 |
| 不明 | 1名 |
| 計 | 175名 |

一々の降等を記すことはできなかったため、院生によっては、何度も同じ等級に昇等したりしているが、記録の誤りではない。



このうち別科生7名の内訳は、別科3等が2名、別科4等が2名、別科5等が1名、別科6等が2名であった。

4-6. 退院生の分類

この時期の東京感化院における退院生の分類については、いわゆる入院規則類に規定されている。まずは「明治二十九年 東京感化院入院規則」の定義から見ることにする。

ここでは、退院生は、改良生・准改良試験生・情願帰宅生・未感化生の4つに分けられている。改良生とは「一等家族にして改良の効著しき者」であり、准改良試験生とは「二等三等家族にして改良の徴候

(10)

ある者（若し依頼主の希望に依り出院せしむる時）」であり、情願帰宅生とは「四等五等六等七等家族にして若し依頼主の情願により中途に出院するもの」であり、未感化生とは「八等以下の家族は如何なる場合と雖も退院を許さず其事情止むを得ざる者」である⁸。

この定義を〈表5〉の退院時等級比率に機械的にあてはめれば、改良退院生は7名、4.0%であり、准改良試験生は21名、12.0%であり、情願帰宅生は70名、40.0%であり、未感化生は、67名、38.3%、等外家族・別科家族・等級不明者は合わせて10名、5.7%である。改良退院生と准改良試験生を合わせて16%、情願帰宅生と未感化生を合わせて78.3%となる。東京感化院自身の定義によるならば、じつに8割近い院生が十分に感化されないまま、退院していることになる。

4-7. 退院理由の分析

上では退院と等級の関係をみてきた。次に実際の退院理由を分析したい。院生の中には、1度退院した後に再入院するケースもあるが、その場合は最後の退院理由により分析をおこなった。なお、それに当たる院生については、4-9において詳しく見ることにする。

(1) 満期退院

満期退院とは、入院時に契約した期間満了により、改善・未感化の別を問わず、退院することである。これに相当する院生は、判明しているかぎりでは13名であり、全体の7.4%に当たる（為功、誠存、有定、厚載、礼行、遠憂、養静、思得、高修、信勇、明篤、道厳、学則の各生）。ただし、退院理由の分析に用いた史料である院務日誌類の

⁸ 「明治三十一年三月改正 東京感化院入院規則」でも、この定義はほとんど同じであるが、未感化生のみ変更され、「在院一年以下の家族は未感化生として出院せしむべし」となった。

記載内容は、年度ならびに記載者によってばらつきがあるため、実際には多少この数字を上回るものと推測される。

(2) 改善が認められたことによる退院（就職、入学等の理由を含む）

上に見たように、東京感化院自身の定義による改良者は、退院時等級から機械的に計算しても16%⁹にすぎないが、実際には4等以下の院生でも感化教育の効果が現れていると考えられる者も多い。そこで、ここでは改良退院生と准改良試験生に加えて、就職、入隊、入学等のため退院が許された院生も、改善が認められた院生と考え、ここに分類した。

(2) - 1. 改良退院生（1等で退院した院生）

これに相当するのは7名、4.0%である（先思、四道、不忍、順行、則正、順則、何言の各生）。なお、このうち不忍の直接の退院理由は依頼主と連絡が取れなくなったためである。

退院後の進路は、次の通りである。先思は稲村と改称し、東京感化院職員として勤務している。先思が職員に採用されたのは、9年以上の在院経験を院として活用しようとしたのであろう。四道は商業に従事している。先思と同じく9年以上の在院期間を有する不忍のその後は、不明である。則正は羽皐塾に入塾している。何言は何村と改称し、京感化院職員（学寮助手）として勤務している。何言を職員に採用したのは、先思の好例にならったとされる。

⁹ 「機械的に」と述べたのは、退院時等級が3等であっても、脱院のまま無見込退院を命じられている院生（たとえば観哉）もいるし、2等でも病気療養のため退院している院生（たとえば得之）もいるため、実際にはさらにこの数字を下回ることになる（下に記すように、24名、13.7%）という意味である。

(12)

(2)－2. 准改良試験生（2，3等で退院した院生）

これに相当するのは17名、9.7%である（正巳、三道、有終、正恭、従善、智円、誠道、心静、養孝、知好、中和、蓬直、成蹊、時中、貞而、存徳、順至の各生）。退院後の進路は、次の通りである。正巳は種物商法家に勤務している。有終は陸軍教導団入営志願である。正恭は高瀬真卿が社長を勤める東京学資保管会社に採用されている。従善は中学校へ入学している。智円は農学校へ入学している。心静は院長役宅へ移転したとされる¹⁰。中和、成蹊は羽阜塾に入塾している。順則は感化院職員（北寮族長）を勤めた後、召集のため第一連隊に入営している。順至は烟管筒製造業に就いている。三道、誠道、養孝、知好、蓬直、時中、貞而、存徳のその後は不明である。

(2)－3. 4，5等で退院の院生のうち、改善が認められた者

これに相当するのは22名、12.6%である（好謙、惟敬、敬孝、信則、近信、有得、生知、善慶、成隣、恭儉、尚徳、徳讓、知賢、謹勝、誠意、徳新、安正、忍和、周徳、洗格、清衡、敬明の各生）。

退院後の進路は、次の通りである。好謙は羽阜塾に入塾し、感化院運営を手伝う。後に職員（助教）に採用され、禾村と改称する。そして5ヶ月ほど勤務し、依願退職している。惟敬は羽阜塾に入塾している。敬孝は学校に通学している。信則は鉄道会社へ就職のため青森地方に赴いている。近信は徴兵検査のため郷里に帰省している（院務日誌からは、その後、羽阜塾の塾生となり、一時期、感化院運営の手伝いをしている様子がうかがえる）。有得、生知、善慶は東京学資保管会社寄宿舎へ移転している（通学のためと思われる）。成隣は工手学校に入学している。恭儉は別科4等であるが、おそらくは改善が認めら

¹⁰ 院務日誌における「院長役宅への移転」が「羽阜塾に入塾」と同義であるか否かは不明であるが、その可能性も排除しえないであろう。

れての退院と考えられる。尚徳、徳讓、知賢、謹勝、誠意、徳新、安正、忍和、周徳、洗格、清衡、敬明のその後は不明である。

(2)－4. 6, 7等で退院の院生のうち、改善が認められた者

これに相当するのは4名、2.3%である（先行、如陽、養善、信義の各生）。

退院後の進路は、次の通りである。先行は商業従事の目的のため開店準備に取り組んでいる。如陽は陸軍幼年学校に入学したと推測される。養善は入営して兵役についている。信義のその後は不明である。

(2)－5. 8等以下で退院の院生のうち、改善が認められた者

これに分類される用道は、現役志願のため9等での退院が認められている。

以上、(2)－1～5の合計は、52名、29.7%となった。すなわち、3等以上での退院を改良とみなす東京感化院自身の厳しい定義を度外視すれば、約3割程度の院生がその行状の改善により退院が認められたと言えよう。

(3) 無見込退院

(3)－1. 院内・院外での素行が悪く、無見込退院を命じられた院生

これに相当するのは9名であり、全体の5.1%に当たる（善道、直諒、信好、直易、礼心、鑽意、義道、近勇、敬順の各生）。

善道は「被服庫に保管の衣類、蚊帳、書籍等を窃取売却したる」¹¹罪にて退院を命じられている。

直諒は、二度の脱院により退院を命じられている。

¹¹ 「明治二十七年 日誌簿」明治27年11月1日の項。

(14)

信好は「工業所より七宝塗丸形煙草入六個及蝨石風鎮二組を窃取脱院，本郷警察署に於て捕獲」¹²された。職員は検事局に不起訴の申し出をおこなったが，すでに公判に回っていたため，無見込退院を命じることとなった。

直易は，院内において「暴威を以て同家族を押し，専横窮りなく已に昨年以來衣物を典して酒食を求めて口腹を充たし，引て他生の衣物に及ぼして自家の資に充つる等」¹³の悪事を働いていたため，無見込退院を命じられている。

礼心，近勇の無見込退院の理由は，院務日誌類からは不詳である。

鑽意は，脱院中に「不正の処業をなし犯罪の点ありし」¹⁴ため，無見込退院を命じられている。

義道は「其身病気を以て特に病院へ入院治療を許せしにも関せず平素の教訓に背き病院を逃走せし」¹⁵罪により降等処分を受けた後，「義道の眼病は河村族長の報告によれば保静痲疾の膿汁をもらい受，眼に注入して故意に作した」¹⁶と判定され，無見込退院を命じられている。

敬順は，犯罪事件で一ヶ月入獄により無見込退院を命じられている。

(3) - 2. 脱院のまま帰院せず，無見込退院を命じられた院生

これに相当するのは 16 名であり，全体の 9.1% に当たる（永佩，貫之，観哉，省吾，以儉，発善，成徳，久敬，敬則，性近，清約，順道，以学，貴当，存理，道行の各生）。

これらの院生を在院期間の長さで分けると，2 年以上と 1 年未満という 2 つのグループに大別される。

¹² 「明治二十九年 日誌簿」明治 29 年 11 月 10 日の項。

¹³ 「明治三十年 監督所日誌」明治 30 年 1 月 11 日の項。

¹⁴ 「明治三十一年 教務科日記」明治 31 年 11 月 29 日の項。

¹⁵ 「明治三十三年 日記 教務科」明治 33 年 3 月 2 日の項。

¹⁶ 同上，明治 33 年 3 月 28 日の項。

2年以上〔6名〕：貫之（2年11ヶ月）、永佩（2年7ヶ月）、観哉（2年3ヶ月）、順道（2年3ヶ月）、以学（2年2ヶ月）、存理（2年1ヶ月）。

1年未満〔10名〕：久敬（11ヶ月）、敬則（9ヶ月）、以儉（7ヶ月）、成徳（5ヶ月）、発善（3ヶ月）、省吾（3ヶ月）、性近（2ヶ月）、貴当（1ヶ月）、道行（1ヶ月）、清約（11日）。

これだけのデータから有意な傾向を見ることはできないにせよ、2年以上の在院者でも、脱院したまま帰ってこない危険性がつねにあったという事実は、院生の取締に当たった職員の苦勞を忍ばせるに十分なものであろう。

(4) 本人の病気に関わる退院

(4)－1. 病気により死亡した院生

これに相当するのは、廉道、直敬、近道の3名である。直敬は明治31年6月15日に院内にて死亡している（職員は日誌において「酢蛸を食したるに毒に中りしか」と推測している¹⁷⁾）。廉道は脚気治療のために帰省中、31年7月4日に死亡している。近道も同じく脚気治療のために帰省中、31年7月15日に死亡している¹⁸⁾。

(4)－2. 本人の病気療養のため退院が認められた院生

これに相当する院生は、10名であり、全体の5.7%であった（得之、達道、時省、三戒、恕行、直養、徳示、儉養、学正、求心の各生）。

得之と達道は病気治療のため赤十字病院に入院させた後、自宅療養

¹⁷⁾ 「明治三十一年 日誌簿」明治31年6月15日の項。本項の記載者は高山樹堂か。

¹⁸⁾ この3名の死は約一ヶ月の間にたて続けに起こっており、その死因に何らかの関連（院内の食事や栄養状態等）がある可能性も疑われるが、検証の手段もないため、これ以上の言及を控えたい。

(16)

のため退院が認められている。時省はしばしば胃痛を訴え、院内でも静養していたが、結局療養のため退院が認められている。三戒、直養は脚氣治療のため転地療養が認められ、退院している。恕行は脱院帰宅のまま帰院しなかったが、病気のため退院が認められている。徳示は、最初、脚氣のため赤十字病院に入院させるも、1日にして脱院を犯したため、赤十字病院にて在院を断られ、現在で言う精神科の専門病院に転院のため退院が認められている。儉養は、トラホームの疑いにて院内にて治療を受けた一月余り後に、転地療養が認められている。ただし、転地療養とトラホームとの関係は不明である。学正の病気については、院務日誌からは不詳である。求心は、病気のため赤十字病院で受診させたところ、「肺炎可答兒に慢性胃病を兼ねたるものなれば転地を要する」¹⁹との診断を受け、転地療養のため退院が認められている。

(5) 本人の請願による退院

これに相当するのは、達也、篤行の2名である。院務日誌類からは、両者の退院に関して、詳しいことを読みとることはできない。この数の少なさからも分かるように、本人の訴えにより退院が認められるケースは、病気の場合を除いてはほとんどない。したがって、これらは現存の史料からは読みとることのできない何らかの事情による例外事例とみなすべきであろう。

(6) 依頼主の都合による退院

(6) - 1. 依頼主からの請願により退院が許可された院生

これに相当するのは36名であり、全体の20.5%に当たる（復言、学道、慎言、無迹、立誠、以文、齊省、正誼、踐言、有常、愛之、行

¹⁹ 「明治三十二年 日記 教務科」明治32年8月23日の項。

恭, 不驕, 求之, 寛容, 恒敬, 希賢, 敬愛, 謙恕, 保真, 良精, 行遠, 謙受, 壯光, 助福, 尽性, 慎微, 慎明, 正瞭, 貴順, 習行, 琢磨, 義敬, 存養, 定静, 修正の各生)。

たいていの場合, 院務日誌では「依頼主の情願により」とだけ記され, 詳しい理由は示されない。保真, 良精, 尽性, 習行, 存養, 修正の退院の場合は「家事上の都合」と付記されている。依頼主もしくは親の死亡のためと記載されるのは, 恒敬(養父死亡)と正瞭(実母死亡)の2名であった。

(6) - 2. 依頼主や親族の病気看護のため退院が許可された院生

これに相当するのは14名であり, 全体の8.0%に当たる(洗心, 進徳, 有言, 任賢, 正容, 全交, 篤敬, 学知, 自得, 求道, 直報, 文行, 忠常, 博厚の各生)。

この内訳は, 「実母看護のため」が6名, 「実父看護のため」が2名, 「親看護のため」が2名, 「祖母看護のため」が2名, 「依頼主看護のため」が2名となっている。

(6) - 3. 在院料未納による退院

これに相当する院生は, 敬信である。また, 9年以上の長きにわたり在院した不忍についても, 形式上は等級1等で改良退院しているが, 院務日誌の記載²⁰によれば, 依頼主との連絡がとれなくなった(すなわち在院料も滞納か)ために退院を命じられたとみなすべきであろう。

(7) 他の施設への移転による退院

これに相当する院生は修教, 安養の2名である。修教については, 保証人と協議の上, 千葉感化院に移転されることになった(明治29

²⁰ 「明治三十四年 日誌 教務科」明治34年9月6日の項。

年12月24日)が、その理由は院務日誌類からはうかがうことができなかった²¹。安養は、東京市養育院感化部に移転している。安養については、第二代院長高瀬紹卿が『東京感化院月報』において論じ、また『東京市養育院月報』の記事を同誌に転載している所以他们に譲ることとする²²。

(8) その他(改善、未感化のいずれにも判定しがたい院生)

これに分類されるのは、友直、思明、以静の3名である。友直は、無断帰宅したまま、退院を申し出た。通常であれば、このような申し出は認められないが、従軍人夫を志願していたため、特別に退院が認められた²³。

思明については、高瀬臯村の報告²⁴によれば、現在で言う知的障害者と判断されており、感化院の入院規則²⁵にもあるように、本来は感化の対象ではないが、実父の懇願により、感化院の等外家族として特別に在院が認められている。

以静は形式上は未感化生として退院しているが、等外家族であるから、思明のケースのように何らかの事情が背後にある可能性が考えら

²¹ このように、千葉感化院に移転された院生としては、本論の対象期間ではないが、直簡(明治25年1月30日移転)の例がある。なお直簡の移転理由も同じく依頼主の都合である。直簡については、『東京感化院雑記』第5号に行状報告が掲載されている。

²² 『東京感化院月報』第38、40、44～47の各号(錦華学院所蔵)を参照。

²³ 「明治二十八年 日誌簿」明治28年2月13日の記述を参照。

²⁴ 『東京感化院雑記』第9号。

²⁵ 「明治二十七年 東京感化院入院手続」(『東京感化院関係史料集』(7)所収)には、「入院の依頼あるも院長に於て感化生の資格なしと認むる者及性来の病身、癲癩白痴の傾きある者、悪疾ある者又は満一ヶ年に至らずして退院すべき事情ある者等は入院を許さず」とある。これに関連する論文として、庄司拓也「明治期から大正期にかけての感化院と障害児について：東京感化院と千葉感化院を事例として」(『長谷川仏教文化研究所年報』第32号(下)、2008年所収)がある。

れる。

(9) 退院理由不明

退院理由を知る手がかりが院務日誌類等からまったく得られなかった院生として、15名、8.6%が存在したため、分析の対象外とした(仁至、自道、寛明、勇義、明誠、道定、学要、行成、誠恕、交信、廉威、習治、恭忠、行学、合宜の各生)。また退院理由の全体比率については、これだけの不明者を含むうえ、院務日誌の記載も曖昧な点が多いため、実態との誤差を恐れ、作表を控えたことを諒とされたい。

4-8. 別科生

先に見たように、別科生として退院しているのは7名である。そもそも別科生とは、「明治三十年五月改正 東京感化院入院規則」(錦華学院所蔵)に初めて規定されたもので、前年度の「明治廿九年六月改正 東京感化院入院規則」²⁶における別房監督の制度を改定したものと考えられる。別房監督生は20歳以上で、依頼主の自弁により院内に新たに別房を建てさせ、そこで生活させるという制度であった。これはおそらく経費の点で無理があり、入院希望者が少なかったためであろうか、翌年の別科生の制度においては、その建築に関する規程を廃止し、入院者の年齢も19歳以上に変更されている。別科生の等級は7等から始まることが規定されている他は、現時点でこの昇等制度について明らかになっていることは少ない。

別科3等の直諒は2度の脱院により無見込退院を命じられている。正誼は別科3等で依頼主からの情願により退院が許可されている。恭儉は別科4等で、おそらく改善が認められての退院と考えられる。壮光は別科4等で依頼主からの情願により退院が許可されている。信勇

²⁶ 『東京感化院関係史料集』(7) 所収。

は別科5等で満期退院(1年)である。明誠と行成は別科6等で退院理由不明である。

4-9. 複数回入院した院生

東京感化院には、一度なんらかの理由で退院したにもかかわらず、再入院を申し込むケースがままある。このようにして再入院が認められた院生として少なくとも10人が存在するので、以下にまとめておく(復言、先行、省吾、何言、合宜、心静、博厚、中和、篤行、安養、近勇の各生)。ただし、あまりにも前回入院時の行状が悪い院生の場合は、「無見込」として再入院を拒む場合もあった²⁷。

復言は、明治23年12月頃入院し、25年12月28日に満期退院(2年間)している。そして、27年9月3日に再入院し、29年12月20日に依頼主の請願により退院している。

先行は、明治24年9月頃入院し、26年5月21日に依頼主の請願により退院している。そして、27年6月5日に再入院し、27年12月27日に商業従事のために退院が認められている。

省吾は、明治26年4月頃入院し、同年4月28日頃実母看護のため帰宅が許されている。27年4月28日に再入院し、同年6月26日に脱院したまま帰院せず、無見込退院を命じられている。

何言は、明治28年4月9日に入院し、30年4月14日に依頼主の請願により退院している。そして31年1月4日に再入院し、36年2月14日に1等家族として改良退院している。その後、何村と改称し、東京感化院の学寮助手として勤務していたが、40年7月17日に転地療養のため出発し、これにより事実上の退職となった。

合宜は、明治27年5月17日に入院し、31年11月30日に2等で改良試験生として退院している。そして32年5月16日に再入院して

²⁷ 一例として行恭が挙げられる。「明治二十九年 日誌簿」3月17日の項。

いる。退院日は不明であるが、33年6月12時点で在院している。

心静は、明治28年8月16日に入院し、32年12月23日に依頼主との相談のうえ、改良試験生(2等)として退院している。そして34年5月16日に再入院し、36年12月に退院(院長役宅へ移転)している。

博厚は、明治28年12月1日に入院し、31年4月17日に脱院帰宅したまま、無見込退院を命じられている。そして、32年1月21日に再入院し、同年3月6日に依頼主危篤のため情願退院が認められている。

中和は、明治29年8月18日に入院し、同年12月25日に実母病気のため情願退院が認められている。そして、30年3月13日に再入院し、33年3月16日に退院し、羽皐塾に移転している。

篤行は、明治30年5月1日に入院し、32年3月6日に依頼主からの請願により退院が認められている。そして32年10月29日に再入院し、33年8月11日に退院している(本人の請願によるものか)。

安養は、明治31年5月6日に入院し、33年6月19日に東京市養育院感化部開設により、同院に移転。そして、34年5月27日に再入院したが、37年1月22日脱院し、東京市養育院に赴いている。

近勇は、明治31年6月28日に入院し、32年4月29日に満期退院(10ヶ月)している。そして、33年11月21日に再入院し、34年11月2日におそらくは無見込退院として、実家に引き取らせている。

おわりに

以上にみてきたように東京感化院の感化教育は、渋谷村羽澤の広い土地を得て、その規模を拡大することが可能となった。明治27年から31年にかけての5年間で、在院生の数は30名前後から70名前後に増大した。この5年間に在院が確認できた院生の総数は175名であった。

感化教育の対象者は、20歳以上の院生の比率が多かった明治27年を除き、大部分が10代の少年たちであった。

入院時12等から始まる昇等制度において、3等以上まで昇りつめて晴れて改良退院となった院生の割合は、13.7%とけっして高くはない。しかしながら、4等以下でも改善傾向が認められて退院した（入学、就職、入隊のためを含む）とみなされる院生を含めるならば、全入院生のうち約3割の院生に感化教育の効果が認められたことになる。すなわち、東京感化院の昇等制度は、大量に昇等者を出すことで、数字上の改良退院者数を上げることよりは、厳格な運用により院生の昇等意欲を高めることを目指して運用されたと言える。

<付記1> 感化号について

東京感化院に入院した院生は、まず2文字の感化号が与えられる。院内では、これに名字の1文字を頭につけて計3文字で院生を呼ぶことが多い。当共同研究ではプライバシーに配慮し、日誌等に3文字で現れる院生については、名字の1字を削除し、感化号のみで記載している。これらの感化号は数百種類が用いられているものと考えられるが、同じ感化号が他の院生に再度付与されることもある。院内ではたいてい3文字で呼んでいるため、それによる混乱は起こらないが、当研究所で刊行している院務日誌類の翻刻においては、判別が難しくなっている。そのため、今回、院生の一覧を作成するに当たって、筆者の気づいた範囲で、（初代）（二代目）等の表記を用いて、感化号を同じくする院生を区別することとした。

<付記2> 家塾、羽臯塾について

東京感化院の記録には、しばしば「家塾」や「羽臯塾」という用語が現れる。これは、院長高瀬真卿が東京感化院と同時進行的に運営し

ていた私塾と考えられる。日誌からは、感化院を退院した後これに所属し、なお高瀬真卿らの教育を受けている院生の存在がうかがえる。この塾はまれに「東京少年塾」とも称されることもあるが、その実態は明らかではない。院務日誌類の記述の少なさから推測すれば塾生は一時に多くとも2～3名であったと推測されるから、高瀬真卿の内弟子のような存在とも考えられる²⁸。仮にそうであったならば、東京感化院のように組織化されたものではないので、これに関する記録が多く残っていないのは当然とも言えよう。これに所属しながら、東京感化院運営の手伝いをおこなっている退院生が存在することは本文に見てきた通りである。

(当研究所主任研究員)

²⁸ 東京感化院の敷地に存在した院長の邸宅に寄食したとも考えられるし、もしくは院生の模範として食事等は院生と共におこなっていた可能性もあろう。いずれにせよ厳密なところは不明である。

〈表6〉東京感化院在院生一覧〔明治27～31年〕

| No. | 感化号 | 入院時 年齢 | 入院日 | 退院日 | 在院期間 | 退院時 等級 | 退院理由, 退院後の行状, 等 |
|-----|-----|-----------|------------------------------|----------------------------------|------------------------|------------|--|
| 1 | 正巳 | 11か | 21. 10. 27 | 27. 4. 28 | 5年6ヶ月 | 2 | 改良退院。「現今従事する業務は実業にて種物商法家に勤務有之候事」(行状報告28. 8. 24) |
| 2 | 先思 | 不明 | 23. 4 以前 | 32. 9. 19 | 9年6ヶ月以上 | 1 | 改良退院。稲村と改称し, 東京感化院職員となる。「先思の号を教務科へ返戻せしめ更に稲村の号を与へ各家族へ通達すべし, 先思の号は吉例たるにより将来に見込ある家族に与ふるも可也。如此も亦大なる感化手段也。先思には別に院長より稲村の命名書を付与せられたり」 |
| 3 | 仁至 | 18 | 23. 4 頃 | 29. 8 以降 | 5年4ヶ月以上 | 不明 (5か) | 退院理由不明。 |
| 4 | 善道 | 16 | 23. 11. 6 | 27. 11. 15 | 4年 | 6 | 「善道は被服庫に保管の衣類, 蚊帳, 書籍等を窃取売却したる事実発覚に付監督所白井草里訊問の末別房謹慎室入を命ず」件にて, 1等から6等に降等の上, 無見込退院を命じる。 |
| 5 | 復言 | 12 | 23. 12 頃, 27. 9. 3 (再) | 25. 12. 28, 29. 12. 20 (再) | 2年3ヶ月 (通算4年 3ヶ月) | 5 | 最初の退院は満期退院。再入院時は, 依頼主からの請願により退院許可。「八月中奉公に出し候処別事なく勤務致候」(行状報告27. 2)「今日まで業務に就かしめしも熱心其業を遂げんとする思想なく半途にして退き現今は従事する業務無之候」(行状報告30. 3) |
| 6 | 四道 | 21 | 24. 7. 4 | 27. 7. 19 | 3年 | 1 | 改良退院。「現今専ら商業に従事す」(行状報告28. 8. 11)。「現今学業には従事せず別宅より本店へ通勤勤務を担当す」(行状報告30. 3) |
| 7 | 先行 | 16 | 24. 9 頃, 27. 6. 5 (再) | 26. 5. 21, 27. 12. 27 (再) | 6ヶ月 (通算1年 4ヶ月) | 7 | 改善退院。「先行は本日を以て仮に出院の上商業従事の目的を以て某所に開店の準備をなす由」 |
| 8 | 永佩 | 12 | 24. 10. 11 | 27. 6. 19 | 2年7ヶ月 | 5 | 脱院のまま帰院せず, 所在不明のため無見込退院を命じる。 |
| 9 | 三道 | 15 | 24. 10. 頃 | 27. 2. 27 | 2年5ヶ月 | 3 | 27. 1. 31「監督所勤番を命ず。被服事務担任の事」。改良退院か。 |
| 10 | 貫之 | 15 | 24. 2. 16 | 27. 1. 21 | 2年11ヶ月 | 4 | 脱院のまま帰院せず, 無見込退院。「父母に於ては将来の見込未だ確定せず但し |

| No. | 感化号 | 入院時 年齢 | 入院日 | 退院日 | 在院期間 | 退院時 等級 | 退院理由, 退院後の行状, 等 |
|-----|-----|-----------|-------------|-----------|----------------|-----------|---|
| | | | | | | | 武人たらしめんとするの考は幾分かあり、本人は画学を以て身を立てんとするの見込なり」(行状報告 28. 8. 23)。「先年後備兵に徴集せられ台湾に出軍す、帰郷後専ら画学を習ひ目今は巡查奉職」(行状報告 30. 3. 26) |
| 11 | 惟敬 | 不明 | 25. 5. 16 | 27. 12. 1 | 2 年以上か | 4 | 改善退院。27. 12. 1 家塾に移転する。 28. 4. 26 依頼主からの請願により情願帰宅。 |
| 12 | 不忍 | 不明 | 25. 5 以前 | 34. 9. 6 | 9 年 1 ヶ月 以上 | 1 | 「午前七時不忍生を退院なさしむ、院長同人を自宅に呼寄せられ左の辞令を渡し直ちに出発せしむ不忍生は以前より再三親元へ引取方照会し置きしも埒明かす為めに家族中先れにも属せず取扱方甚面倒に付当方より退院なさしめたるなり 一等家族 不忍 改悛の効あるにより試験生の資格を与へ帰宅せしむ、猶反省改心の実効を立つべし 月 日 院長名」 |
| 13 | 学道 | 16 | 25. 1. 9 | 27. 1. 31 | 2 年 | 5 | 依頼主からの請願により退院許可。「退院後漢学を修業いたし当今実業〇〇を修業中なり」(行状報告 28. 8. 8) |
| 14 | 進徳 | 15 | 25. 1. 30 頃 | 27. 2. 5 | 2 年 | 9 | 脱院ならびに実父看護のため、無見込退院を命じる。 「進徳実父大病に付看護として退院す」 「進徳生儀感化之見込なく加之依頼主之措置に於て本院教誨上不合格之点も有之旁退院を命じ…」。 |
| 15 | 順行 | 20 | 25. 5. 16 | 27. 11. 7 | 2 年 5 ヶ月 | 1 | 退院生総代として改良退院。「本年(28 年)三月より六月迄東京〇〇株式会社見習に従事罷在候処当七月より〇〇へ実業見習の為め罷在候」(行状報告 28. 8. 5)。 31. 1. 21 付でハワイのホノルルより院に書簡発送(『東京感化院雑記』11 号)。 |
| 16 | 慎言 | 19 | 25. 6. 21 | 27. 1. 11 | 1 年 6 ヶ月 | 9 | 依頼主からの請願により退院許可。「慎言依頼主〇〇に於て契約の義務を履行せざるを以て不合格者の資格と認め本日帰宅を命せられ」 |
| 17 | 洗心 | 16 | 25. 7. 21 | 27. 3. 25 | 1 年 8 ヶ月 | 7 | 実母看護のため、情願退院。 |

| No. | 感化号 | 入院時 年齢 | 入院日 | 退院日 | 在院期間 | 退院時 等級 | 退院理由, 退院後の行状, 等 |
|-----|-----|-----------|-----------------------------|--------------------------------|----------------|-----------|--|
| 18 | 達也 | 19 | 25. 7. 24 | 27. 8. 11 | 2年 | 6 | 本人の請願により情願退院。 |
| 19 | 無迹 | 15 | 25. 9. 2 | 27. 7. 22 | 1年10ヶ月 | 5 | 依頼主からの請願により退院許可。 |
| 20 | 観哉 | 24 | 25. 9. 2 | 27. 12. 28 | 2年3ヶ月 | 3 | 手紙を残して脱院のまま帰院せず, 無見込退院。 |
| 21 | 立誠 | 17 | 25. 9. 2 | 27. 1. 31 | 1年4ヶ月 | 8 | 依頼主からの請願により退院許可。「現今洋傘柄製造に従事す」(行状報告 28. 8. 5) |
| 22 | 時中 | 16 | 25. 11 頃 | 28. 5. 13 | 2年6ヶ月 | 3 | 改良退院。 |
| 23 | 貞而 | 18 | 26. 4. 21 | 28. 5. 13 | 2年 | 2 | 改良退院。 |
| 24 | 省吾 | 16 | 26. 4 頃 27. 4. 28 (再) | 26. 4. 28, 27. 6. 26 (再) | 2ヶ月(通算 3ヶ月) | 12 | 実母看護のため, 退院許可。再入院時は脱院のまま帰院せず, 無見込退院。 |
| 25 | 得之 | 13 | 26. 5 頃 | 29. 5. 22 | 3年 | 2 | 病氣自宅療養のため, 退院。「得之生儀病氣療養の爲め帰国後撰生怠ず罷在候得共尚ほ充分快き方に赴かざりしに依り先頃治療の爲め〇〇市へ遣し置き候処少しく快く相成申候に付養生の傍ら同市某町に居住せる〇〇と申す教育家に依頼致し昨今親戚(本人実姉方)より同氏の許へ通学為致居候現況左に…午前八時より教師の自宅へ出頭午後三時退き自修罷在候」(行状報告 30. 7. 16) |
| 26 | 思明 | 13 | 26. 6. 15 | 30. 4. 10 | 3年9ヶ月 | 等外 | 30年1月20日家族長室給仕を命じる。「現今学業は前年と同事に御座候, 将来別段見込無之候。…右思明生は〇〇にして感化の見込なき者なりしも彼が自家の事情と実父の懇請とに依りて久敷在院せしめたれ共院内に在りては等外家族にして感化教の効化なき者と認めしなり, 其悪癖は物品を窃取すると時々癩癩病を發するにあり。教部 臯村記」(行状報告 30. 9) |
| 27 | 有言 | 21 | 26. 6. 15 | 27. 3. 7 | 8ヶ月 | 9 | 実母看護のため, 情願退院。 |
| 28 | 敬孝 | 17 | 26. 6 頃 | 27. 9. 27 | 1年3ヶ月 | 4 | 改善退院。(分房家族長子)「現今〇〇学校に通学す, 将来の見込は陸軍士官候補生志願」(行状報告 30. 3. 13) |
| 29 | 以儉 | 19 | 26. 7. 24 | 27. 2. 27 | 7ヶ月 | 11 | 脱院のまま帰院せず, 無見込退院。 |
| 30 | 任賢 | 14 | 26. 7. 24 | 27. 3. 3. 25 | 8ヶ月 | 10 | 実母看護のため, 情願退院。「現今は親戚に於て質商の見世を預り罷在候」(行 |

| No. | 感化号 | 入院時 年齢 | 入院日 | 退院日 | 在院期間 | 退院時 等級 | 退院理由, 退院後の行状, 等 |
|-----|-----|-----------|------------|------------|--------|-----------|---|
| | | | | | | | 状報告 28. 8. 17) |
| 31 | 則正 | 不明 | 26. 9. 8 | 29. 11. 13 | 3年2ヶ月 | 1 | 改良退院。家塾生となる。31. 1. 18. 東京学資保管会社寄宿舎へ移転。32. 11. 9 再入院。33. 8. 1「退院。則正は台湾〇〇県へ商業の為め明二日出発に付退院の儀、依頼主連署出願。」 |
| 32 | 為功 | 12 | 26. 9. 8 | 27. 8. 31 | 1年 | 7 | 満期退院。 |
| 33 | 發善 | 19 | 26. 10. 31 | 27. 2. 21 | 3ヶ月 | 11 | 脱院のまま帰院せず、無見込退院。 |
| 34 | 信則 | 15 | 26. 10. 31 | 28. 3. 30 | 1年5ヶ月 | 5 | 改善退院。「同人は院長の紹介を以て青森地方〇〇駅停車場在勤の〇〇方へ赴き同所に勤務の志願を為す予定なり」 |
| 35 | 以文 | 18 | 26. 10. 31 | 27. 7. 15 | 8ヶ月 | 9 | 依頼主からの請願により退院許可。 |
| 36 | 齊省 | 12 | 26. 12. 16 | 28. 9. 2 | 1年8ヶ月 | 4 | 依頼主からの請願により退院許可。 |
| 37 | 有終 | 15 | 26. 12. 28 | 28. 12. 25 | 2年 | 2 | 改良退院。(陸軍教導団入営志願)「現今学業及び其他の業務なし、客年退院後酒販売店を開始せしも、目下の処にては将来の見込なし、尚本人に於ても一定の目的なし」(行状報告 30. 3. 19) |
| 38 | 成徳 | 15 | 27. 1. 29 | 27. 6. 26 | 5ヶ月 | 11 | 脱院のまま帰院せず、無見込退院。 |
| 39 | 直諒 | 23 | 27. 1. 30 | 27. 8. 21 | 7ヶ月 | 別科 3 | 27. 6. 8 と 27. 8. 10 の 2 度 の 脱 院 に よ り、無見込退院を命じる。 |
| 40 | 正恭 | 11 | 27. 2. 24 | 30. 8. 8 | 3年5ヶ月 | 2 | 改良退院。東京学資保管会社に採用される。 |
| 41 | 久敬 | 18 | 27. 3. 8 | 28. 3. 5 | 11ヶ月 | 7 | 脱院のまま帰院せず、無見込退院。 |
| 42 | 誠存 | 10 | 27. 4. 15 | 28. 5. 3 | 1年 | 7 | 満期退院。「現在は左の業務(古着商及質商兼業)に従事し其〇所に宿泊なし居候故其店主人に聞合候処至って穩当の由に有之候(習字を好み候由)」(行状報告 28. 12. 14) |
| 43 | 有定 | 12 | 27. 4. 16 | 28. 4. 15 | 1年 | 8 | 満期退院。「現今織物業に従事す」(行状報告 28. 8. 7) |
| 44 | 敬則 | 17 | 27. 5. 9 | 28. 2. 11 | 9ヶ月 | 9 | 脱院帰宅のまま帰院せず、無見込退院を命じる。 |
| 45 | 從善 | 13 | 27. 5. 16 | 30. 4. 4 | 2年10ヶ月 | 3 | 改良退院。「目下私立中学校へ通学学業の進歩普通、本人は軍人出身の希望に有之依て親戚間に於ても同意に御座候」(行状報告 30. 9. 13) |

| No. | 感化号 | 入院時 年齢 | 入院日 | 退院日 | 在院期間 | 退院時 等級 | 退院理由, 退院後の行状, 等 |
|-----|-----|-----------|-----------|------------|----------|-----------|---|
| 46 | 正誼 | 19 | 27. 5. 16 | 27. 10. 28 | 5 ヶ月 | 別科 3 | 依頼主からの請願により退院許可。「学業及び業務未定。父母及び本人の目的は商業の積り」(行状報告 28. 8. 7) |
| 47 | 踐言 | 17 | 27. 6. 6 | 27. 6. 26 | 20 日 | 12 | 27. 6. 8 脱院。27. 6. 10 警察によって取り押さえられ、帰院。27. 6. 28 再び脱院。27. 9. 24 自首帰院するも、依頼主の請願により情願退院生として帰省させる。 |
| 48 | 全交 | 18 | 27. 7. 6 | 28. 11. 14 | 1 年 4 ヶ月 | 5 | 実母看護のため、情願退院。「現今の務は呉服及古着商へ出店致させ置候、将来は質物営業の見込の事」(行状報告 30. 3. 24) |
| 49 | 有常 | 10 | 27. 7. 4 | 31. 4. 21 | 3 年 9 ヶ月 | 8 | 29. 12 授業手宅へ職業訓練のため移転。30. 8. 3 授業手宅から逃走。31. 8. 5 帰院、家族に編入する。31. 4. 21 本人ならびに依頼人の請願により情願退院。「八等家族有常身上の件に付き将来の目途立たざるを以て本月初旬より引取方を保証人に通知せし所、当人の望み又保証人の依頼により本日郷里へ帰らしむ」 |
| 50 | 愛之 | 16 | 27. 7. 6 | 27. 12. 28 | 5 ヶ月 | 10 | 依頼主からの請願により退院許可。 |
| 51 | 近信 | 12 | 27. 7. 29 | 31. 7. 30 | 4 年 | 4 | 徴兵検査のために郷里に帰省する旨で退院が認められる。34. 11 の日誌からは、家塾生として、感化院運営の手伝いをしていく様子がうかがえる。 |
| 52 | 正容 | 不明 | 27. 8. 23 | 28. 10. 15 | 1 年 2 ヶ月 | 7 | 祖母看護のため帰省のまま、退院許可。「経書を学び並に農学及其実業に従事する事、将来は農業に従事するの目的」(行状報告 30. 3) |
| 53 | 用道 | 16 | 27. 8. 27 | 28. 4. 22 | 7 ヶ月 | 9 | 現役志願し、体格検査合格のため退院。「…専ら農事に勤勉し仮面的労働とは思はれざりき、十二月一日〇〇の召集に応じ勇んで入営したり」(行状報告 28. 12. 29) |
| 54 | 智円 | 17 | 27. 9 頃 | 29. 5. 30 | 1 年 8 ヶ月 | 3 | 改良退院。「本人出院の後は〇〇〇農学校入校の儀に付…」。「現今の業務は〇〇〇に於て農業科を学ぶ、将来は農業に就かしむる見込又本人も其希望」(行状報告 30. 3. 26) |
| 55 | 行恭 | 不明 | 27. 9 頃 | 28. 6. 28 | 9 ヶ月 | 7 | 依頼主からの請願により退院許可。「将 |

| No. | 感化号 | 入院時 年齢 | 入院日 | 退院日 | 在院期間 | 退院時 等級 | 退院理由, 退院後の行状, 等 |
|-----|------------|-----------|------------------------------|--------------------------------|----------------------|------------|--|
| | | | | | | | 来の見込目的共未だ定め難し」(行状報告 28. 8. 5)。29. 3. 17 再入院依頼あるも、無見込のため謝絶。 |
| 56 | 篤敬 | 17 | 27. 10. 24 | 28. 8. 14 | 9 ヶ月 | 9 | 実父看護のため、情願退院。 |
| 57 | 友直 | 18 | 27. 10 頃 | 28. 2. 11 | 4 ヶ月 | 10 | 無断帰宅。従軍人夫志願の為、退院を認める。 |
| 58 | 学知 (初代) | 12 | 27. 11. 14 | 29. 7. 4 | 1年6 ヶ月 | 8 | 実母看護のため、情願退院。 |
| 59 | 敬順 | 15 | 27. 11 頃 | 30. 5. 25 | 2年8 ヶ月 | 2 | 改良退院。家塾に移転。30. 6. 4 監督所勤番。30. 8. 4 教導団へ入団。30. 8. 31 「本月四日教導団へ入りし敬順は練兵中落馬して頭を打ち不治として退団を命ぜられ本日帰院せり」。家塾に再び編入。31. 1. 21 「敬順要塞砲兵射の学校志願せしむる考の所教導団退団の理由不明に付き見合はず」。31. 2 頃、犯罪事件により入獄(重禁錮1 ヶ月)。31. 4. 27, 釈放, 帰郷。 |
| 60 | 性近 | 15 | 28. 3. 10 頃 | 28. 5. 12 | 2 ヶ月 | 12 | 28. 3. 27 脱院。28. 5. 7 実父同伴, 帰院。28. 5. 12 再び脱院のまま帰院せず、無見込退院。 |
| 61 | 信好 | 13 | 28. 3 頃 | 29. 11. 8 | 1年7 ヶ月 | 7 | 29. 11. 8 攻業場より製品携帯して脱院。翌日窃盗のため逮捕。 |
| 62 | 何言 | 不明 | 28. 4. 9, 31. 1. 4 (再) | 30. 4. 14, 36. 2. 14 (再) | 2年 (通算7年 1 ヶ月) | 5, 1(再) | 30. 4. 14 依頼主からの請願により退院許可。「退院後直ちに〇〇市立〇〇小学校へ入学せしめし処、是迄の小学不順故先づ尋常科三年生に入学引続き自宅にて拙者長男に就き予科教授の処幸にして同年六月一日尋常四年生へ編入し又七月小試験に於て高等科一年へ編入す」(行状報告 30. 9. 8)。31. 1. 4 再入院。34. 4. 14 随意科に編入する。34. 4. 16 「一等家族何言は先思の例にならひ本日何村と命名せらる」。以後長子として院務を補佐。36. 2. 14 「午前十時、克化殿神前に於て、一等家族何村、改良証書授与式執行の上院友となる」。その後、学寮助手として勤務。40. 7. 17 「学寮助手何村氏は病気の為め本日転地療養の為め出発、当分欠勤」。これにより事実上の退職となる。 |

| No. | 感化号 | 入院時 年齢 | 入院日 | 退院日 | 在院期間 | 退院時 等級 | 退院理由, 退院後の行状, 等 |
|-----|-----|-----------|--------------------------------|----------------------|-----------------|-----------|--|
| 63 | 不驕 | 15 | 28. 4. 28 | 30. 2. 26 | 1年9ヶ月 | 5 | 依頼主からの請願により退院許可。「学業は一定せずと雖も韓語英語を主とし其他の普通も学び居れり, 身体柔弱にして意の如く勉強する能はず服薬保養せり, 将来商業家となるを目的とす」(行状報告 30. 9. 14) |
| 64 | 求之 | 13 | 28. 4. 4 | 30. 1. 31 | 1年9ヶ月 | 6 | 依頼主からの請願により退院許可。「現在は菓子製造に従事す, 将来の見込未だ立ち不申」(行状報告 30. 9. 15)。36. 10. 21「退院生求之生来院す(目下師団上等兵)」。38. 3. 30「○○(求之)来院す, 昨年出征旅順方面にて負傷し軍曹に陞る, 再び明後一日満州に出征する由にて暇乞に来る」 |
| 65 | 直易 | 15 | 28. 5 | 30. 1. 12 | 1年 | 8 | 30. 1. 11「前条の節分房長子直易生の行状の上疑ふべき点多きを以て三戒生に問答せしに, 彼れ暴威を以て同家族を押し, 専横窮りなく已に昨年以來衣物を典して酒食を求めて口腹を充たし, 引て他生の衣物に及ぼして自家の資に充つる等其毒害の及ぶ所計るべからざるを以て岡西掌事と談議の上依頼主を呼び無見込退院を命ずる筈なり, 時省の犯則等も必竟に出ずるものにして家族生を煽動する等一に彼の奸心より出つるものゝ如し, 勿論前所長彼に訓戒を加ふること一再に止まらずと雖尚ほ改心の条なき如, 此由て一大英断を決行し善後策に意を止めんとす」。30. 1. 12無見込退院を命じる。 |
| 66 | 合宜 | 14 | 28. 5. 17, 32. 5. 16 (再) | 31. 11. 30, 不明(再) | 3年6ヶ月 (通算不明) | 2 | 31. 11. 30改良退院。32. 5. 16再入院。 33. 6. 12時点で在院。 |
| 67 | 礼心 | 17 | 28. 6. 1 | 29. 3. 28 | 9ヶ月 | 9 | 7等から2等を降し, 無見込退院を命じる。(理由不明) |
| 68 | 誠道 | 11 | 28. 6. 5 | 32. 2. 7 | 3年8ヶ月 | 3 | 依頼主からの請願により帰宅, 改良退院と認められる。 |
| 69 | 自得 | 13 | 28. 6. 17 | 29. 10. 14 | 1年3ヶ月 | 7 | 実母看護のため, 情願退院。「退院後漢学を修業致し居候, 将来の目的は未定」(行状報告 30. 3. 22) |

東京感化院の感化教育について

(31)

| No. | 感化号 | 入院時 年齢 | 入院日 | 退院日 | 在院期間 | 退院時 等級 | 退院理由, 退院後の行状, 等 |
|-----|-------------|-----------|--------------------------------|----------------------------------|-------------------------|------------|--|
| 70 | 以静 | 11 | 28. 7. 5 | 30. 4. 5 | 1年9ヶ月 | 等外 | 未感化生として退院を命じる。(理由不明)。「商家に現住し居る為め相当なる小用をなさしめ又能く要件を示して外出の用をなさしめ差支なく要件を辨す, 将来は製紙工又は農業等に従事せしむるの見込」(行状報告 30. 9) |
| 71 | 寛容 | 13 | 28. 8. 13 | 29. 2. 26 | 6ヶ月 | 10 | 依頼主からの請願により情願退院。「目今〇〇紡績会社の職工に従事す, 父母及本人に於ても将来兵籍に入る事を目的となす」(行状報告 30. 3. 25) |
| 72 | 求道 | 15 | 28. 8. 14 | 30. 10. 31 | 1年2ヶ月 | 4 | 依頼主急病のため情願退院。 |
| 73 | 心静 | 12 | 28. 8. 16, 34. 5. 16 (再) | 32. 12. 23, 36. 12. 24 (再) | 4年4ヶ月 (通算6年 11ヶ月) | 2, 2 | 依頼主との相談の上, 退院を認める。 34. 5. 16再入院(5等に降等)。36. 12. 24「西寮家族生心静, 正巳の二名, 本日院長役宅へ移転せしむ」 |
| 74 | 順至 | 23 | 28. 8 以前 | 29. 11. 30 | 1年3ヶ月 以上 | 3か | 改良退院。この院生の等級記録は少なく, 疑問が残る。「現今の業務は長門と称する烟管筒製造なり」(行状報告 31. 3. 21) |
| 75 | 厚載 | 15 | 28. 9. 8 | 29. 8. 30 | 11ヶ月 | 8 | 満期退院。「当今〇〇塾へ入学修業中, 将来自家営業継続の見込, 〇〇塾内に寄宿す」(行状報告 30. 9) |
| 76 | 恒敬 | 13 | 28. 10. 2 | 29. 10. 10 | 1年 | 9 | 養父死亡により情願退院。 |
| 77 | 有得 | 13 | 28. 10. 4 | 31. 12. 1 | 3年1ヶ月 | 5 | 改良退院。東京学資保管会社寄宿舎へ移転。 |
| 78 | 修教 (初代) | 13 | 28. 10. 6 | 29. 12. 24 | 1年2ヶ月 | 7 | 千葉感化院へ移転。 |
| 79 | 達道 | 17 | 28. 10. 18 | 30. 12. 4 | 2年1ヶ月 | 4 | 転地療養のため。 |
| 80 | 博厚 (初代) | 11 | 28. 12. 1, 32. 1. 21 (再) | 31. 4. 17, 32. 3. 6 (再) | 2年4ヶ月 (通算2年 5ヶ月) | 5, 8(再) | 脱院帰宅のまま帰院せず, 無見込退院。 31. 9. 2. 再入院(9等に降等)。32. 3. 6 依頼主危篤のため情願退院。 |
| 81 | 好謙 | 18 | 29. 1. 28 | 30. 7. 24 | 1年6ヶ月 | 5 | 改善退院。家塾に移転し, 感化院運営を手伝う。31. 3. 1 助教に採用され, 禾村と改号。31. 7. 29 依頼退職。 |
| 82 | 敬信 | 9 | 29. 2. 20 | 31. 6. 24 | 2年4ヶ月 | 5 | 在院料未納のため, 退院を命じる。 |
| 83 | 自道 (二代目) | 14 | 29. 2. 25 | 30. 1. 8 | 10ヶ月 | 8 | 退院を命じる。(理由不明) |
| 84 | 養孝 | 14 | 29. 3. 1 | 34. 8. 4 | 4年5ヶ月 | 2 | 改良退院。 |

| No. | 感化号 | 入院時 年齢 | 入院日 | 退院日 | 在院期間 | 退院時 等級 | 退院理由, 退院後の行状, 等 |
|-----|-----|-----------|--------------------------------|--------------------------|----------------------|-----------|--|
| 85 | 時省 | 18 | 29. 4. 18 | 31. 7. 24 | 2年3ヶ月 | 5 | 病気療養のため。(院内にてしばしば胃痛を訴える) |
| 86 | 希賢 | 15 | 29. 5. 6 | 29. 12. 5 | 7ヶ月 | 10 | 依頼主からの請願により退院許可。 |
| 87 | 生知 | 11 | 29. 5. 13 | 32. 3. 31 | 2年10ヶ月 | 4 | 改善退院。東京学資保管会社寄宿舎へ移転。 |
| 88 | 尚徳 | 11 | 29. 5. 15 | 31. 9. 29 | 2年4ヶ月 | 5 | 改善退院。 |
| 89 | 知好 | 12 | 29. 6. 2 | 32. 6. 1 | 3年 | 3 | 改良退院。 |
| 90 | 敬愛 | 15 | 29. 6. 8 | 31. 1. 26 | 1年7ヶ月 | 5 | 依頼主からの請願により退院許可。 |
| 91 | 直報 | 17 | 29. 6. 15 | 30. 1. 22 | 6ヶ月 | 8 | 祖母看護のため, 情願退院。 |
| 92 | 礼行 | 18 | 29. 6. 16 | 30. 6. 21 | 1年 | 8 | 満期退院。 |
| 93 | 三戒 | 14 | 29. 8. 15 | 31. 6. 1 | 1年10ヶ月 | 6 | 脚気治療のため転地療養。 |
| 94 | 中和 | 11 | 29. 8. 18, 30. 3. 13 (再) | 29. 12. 25, 33. 3. 16 | 4ヶ月 (通算3年 4ヶ月) | 11, 3 | 29. 12. 25 依頼主からの情願(実母病気)により退院許可。30. 3. 13 再入院。33. 3. 16 羽阜塾に移転。 |
| 95 | 学則 | 15 | 29. 8. 26 | 31. 9. 17 | 2年 | 8 | 31. 9. 17 依頼主からの請願により帰宅許可。31. 10. 12 満期退院を命じる。32. 6. 21 再入院申込みあるも, 謝絶。 |
| 96 | 遠憂 | 15 | 29. 9. 5 | 30. 8. 29 | 11ヶ月 | 9 | 満期退院。 |
| 97 | 行学 | 15 | 29. 9. 5 | 33. 7頃か | 2年10ヶ月 | 5 | 退院理由不明(脱院のままか)。33. 8. 11 「行学は目下試みのため自庭へ留置度旨〇〇より来翰あり」 |
| 98 | 善慶 | 16 | 29. 9. 29 | 32. 4. 5 | 2年6ヶ月 | 4 | 改善退院。依頼主の希望により東京学資保管会社寄宿舎へ移転。32. 10. 17 「〇〇及善慶外親属耆人共来院, 樹堂面会の後岡西掌事面会, 善慶在院中の謝辞を述べ, 院長へ菓子折一個持参の処謝絶」 |
| 99 | 謙恕 | 11 | 29. 10. 2 | 30. 6. 28 | 7ヶ月 | 10 | 依頼主からの請願により帰宅のまま退院許可。「自家にて習字及び算術を学び居る, 将来は商業の途に入れ度見込」(行状報告 30. 9. 8) |
| 100 | 寛明 | 11 | 29. 11. 5 | 31. 7. 1 | 1年7ヶ月 | 7 | 退院理由不明(情願か)。 |
| 101 | 養静 | 13 | 29. 11. 12 | 31. 4. 30 | 1年5ヶ月 | 7 | 満期退院。 |
| 102 | 成隣 | 12 | 29. 11. 16 | 32. 9. 1 | 1年9ヶ月 | 5 | 工手学校入学のため。32. 9. 1 「〇〇来院, 成隣生義来る十一月満期の処工手学校へ入学致させ度旨を以て退院願出るに依り, 岡西, 高瀬両掌事面会, 協議の上退院せしむ」 |

| No. | 感化号 | 入院時 年齢 | 入院日 | 退院日 | 在院期間 | 退院時 等級 | 退院理由, 退院後の行状, 等 |
|-----|-----|-----------|-------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|------------|---|
| 103 | 清約 | 19 | 29. 12. 21 | 30. 1. 1 | 11 日 | 12 | 脱院のまま帰院せず, 無見込退院。 |
| 104 | 鑽意 | 17 | 29. 11. 17 | 31. 11. 29 | 2 年 | 9 | 31. 11. 29 無見込退院を命じる。「八等家族鑽意脱院中不正の処業をなし犯罪の点ありしを以て見込なし退院を命じ家族の名籍を除く」 |
| 105 | 保真 | 13 | 30. 1. 6 | 32. 9. 30 | 2 年 8 ヶ月 | 4 | 依頼主からの情願(家事上の都合)により退院許可。 |
| 106 | 蓬直 | 15 | 30. 2. 16 | 32. 11. 1 | 2 年 8 ヶ月 | 2 | 32. 8. 22 「蓬直を別科へ移し日中は澗泉亭に在ることを許す」。32. 11. 1 改良退院。 |
| 107 | 存徳 | 15 | 30. 2. 18 | 31. 12. 25 | 1 年 10 ヶ月 | 2 | 改良退院。 |
| 108 | 勇義 | 17 | 30. 2. 21 | 31. 9. 1 | 1 年 6 ヶ月 | 6 | 退院理由不明。 |
| 109 | 養善 | 18 | 30. 3. 5 | 31. 11. 29 | 1 年 8 ヶ月 | 6 | 31. 11. 7 別科へ移転。31. 11. 26 「養善来十二月一日入営して兵役に付くを以て其心得を論す」。11. 29 退院。 |
| 110 | 思得 | 17 | 30. 3. 8 | 31. 6. 30 | 1 年 3 ヶ月 | 7 | 満期退院。 |
| 111 | 高修 | 17 | 30. 3. 11 | 31. 4. 26 | 1 年 1 ヶ月 | 7 | 1 年の満期を過ぎ, 依頼主と相談の上, 試験帰宅生として退院。 |
| 112 | 成蹊 | 14 | 30. 4. 6 | 不明 | 不明 | 3 | 33. 2. 11 羽阜塾に移転。35. 6. 1 時点で在院。退院日不明。(35. 6. 16 の徴兵検査にて合格か) |
| 113 | 明誠 | 不明 | 30. 4. 7 | 30. 8. 13 | 4 ヶ月 | 別科 6 | 退院理由不明(情願退院か)。 |
| 114 | 順道 | 16 | 30. 4. 12 | 32. 7. 28 | 2 年 3 ヶ月 | 8 | 脱院帰宅のまま, 帰院せず。5 等から 8 等に降等させ, 無見込退院を命じる。 |
| 115 | 篤行 | 15 | 30. 5. 1, 32. 10. 29(再) | 32. 3. 6, 33. 8. 11 (再) | 1 年 10 ヶ月, (通算 2 年 7 ヶ月) | 7, 7(再) | 依頼主からの請願により退院許可。 32. 10. 29 再入院。33. 8. 11 退院(本人の請願か)。 |
| 116 | 道定 | 12 | 30. 5. 7 | 不明 (33. 3. 8 時 点で在院) | 不明 | 不明 | 退院理由不明。 |
| 117 | 信勇 | 18 | 30. 5. 10 | 31. 5. 3 | 1 年 | 別科 5 | 満期退院。 |
| 118 | 恕行 | 16 | 30. 5. 12 | 30. 6. 3 | 23 日 | 12 か | 脱院帰宅のまま帰院せず, 本人病気のため退院許可。 |
| 119 | 文行 | 17 | 30. 5. 18 | 30. 7. 15 | 1 ヶ月 | 12 か | 親看護のため, 情願退院。 |
| 120 | 順則 | 14 | 30. 5. 23 | 36. 7. 28 | 6 年 2 ヶ月 | 1 | 改良退院。36. 7. 28 北寮族長となる。 37. 2. 8 召集のため第一連隊に入営。 |
| 121 | 徳讓 | 10 | 30. 6. 4 | 33. 12. 5 | 3 年 6 ヶ月 | 4 | 改善退院。 |

| No. | 感化号 | 入院時 年齢 | 入院日 | 退院日 | 在院期間 | 退院時 等級 | 退院理由, 退院後の行状, 等 |
|-----|-----|-----------|-----------------|----------------------------------|---------------------|-----------|---|
| 122 | 知賢 | 15 | 30. 6. 18 | 32. 10. 21 | 2年5ヶ月 | 5 | 改善退院か。 |
| 123 | 良精 | 15 | 30. 6. 21 | 32. 6. 13 | 2年 | 8 | 依頼主からの情願(家事上の都合)により退院許可。 |
| 124 | 謹勝 | 14 | 30. 7. 5 | 32. 12. 12 | 2年5ヶ月 | 5 | 改善退院か。 |
| 125 | 直養 | 12 | 30. 7. 21 | 不明 (32. 2. 7時 点で自宅 療養中) | 不明(1年半 程度か) | 8 | 31. 6. 11~32. 8. 31 脚気のため, 転地療養。 32年自宅療養のまま退院か。 |
| 126 | 徳示 | 15 | 30. 8. 2 | 31. 3. 17 | 7ヶ月 | 12か | 31. 3. 17 脚気のため赤十字社病院へ入院。 翌日病院から逃走し, 帰院。依頼主から の請願により退院許可。(痲癲病院入院 のため) |
| 127 | 誠意 | 17 | 30. 8. 8 | 32. 10. 22 | 1年2ヶ月 | 5 | 改善退院か。 |
| 128 | 徳新 | 15 | 30. 8. 8 | 32. 7. 21 | 1年11ヶ月 | 5 | 改善退院か。 |
| 129 | 行遠 | 15 | 30. 9. 3 | 31. 10. 8 | 1年1ヶ月 | 8 | 依頼主からの請願により退院許可。 |
| 130 | 敬明 | 16 | 30. 9. 25 | 33. 4. 21 | 2年6ヶ月 | 4 | 改善退院か。 |
| 131 | 学要 | 17 | 30. 10. 9 | 不明 (33. 6. 20 時点で 在院) | 不明 (2年8ヶ月 以上) | 7 | 退院理由不明。 |
| 132 | 信義 | 10 | 30. 10. 13 | 34. 1. 31 | 3年3ヶ月 | 4 | 依頼主からの請願により退院許可。(ただ し改善退院か。) |
| 133 | 安正 | 10 | 30. 10. 19 | 33. 2. 28 | 2年4ヶ月 | 5 | 改善退院か。 |
| 134 | 恭儉 | 19 | 30. 11. 15 別 | 32. 11. 1 | 1年11ヶ月 | 別科4 | 改善退院か。 |
| 135 | 忍和 | 10 | 30. 11. 21 | 33. 9. 4 | 2年9ヶ月 | 5 | 改善退院か。 |
| 136 | 儉養 | 12 | 30. 12. 1 | 31. 8. 12 | 8ヶ月 | 10 | 転地療養のため。 |
| 137 | 明篤 | 15 | 30. 12. 14 | 31. 12. 13 | 1年 | 8 | 満期退院。 |
| 138 | 行成 | 17 | 30. 12. 23 | 31. 8. 7 | 7ヶ月 | 別科6 | 退院理由不明。 |
| 139 | 謙受 | 16 | 31. 1. 8 | 32. 4. 10 | 1年3ヶ月 | 7 | 依頼主からの請願により退院許可。 |
| 140 | 廉道 | 16 | 31. 1. 14 | 31. 7. 1 | 5ヶ月 | 11 | 脚気治療のため帰省中, 31. 7. 4死亡。 |
| 141 | 直敬 | 13 | 31. 1. 28 | 31. 6. 15 | 4ヶ月 | 11 | 食中毒のため死亡とされる。 31. 6. 15「直敬生曾て去る十三日夜酢蛸を 食したるに毒に中りしか吐瀉したれとも 治療せしに依り治れたり, 本日午前六時 起床, 井戸端に行き顔を洗ひ夫より居室 |

| No. | 感化号 | 入院時 年齢 | 入院日 | 退院日 | 在院期間 | 退院時 等級 | 退院理由, 退院後の行状, 等 |
|-----|-------------|-----------|------------------------|-------------------------|------------------------|-----------|--|
| | | | | | | | に帰らるゝ処胸部に苦痛を覚へたる由にて医師を呼ぶ、七時頃森川医来診直に手術を施し薬を以吐かしめ或ひは浣腸して下さしむるに軽快せし様子なりしも俄然胃痙攣を起したるに依り皮下注を施し種々手術を尽したれとも終に其効なく午前十一時半永眠せり」31. 6. 17「九等家族に追補し追遠祭霊位に加ふ」 |
| 142 | 壮光 | 27 | 31. 2. 18 | 32. 5. 25 | 1年3ヶ月 | 別科4 | 依頼主からの請願により退院許可。 |
| 143 | 近道 | 15 | 31. 2. 24 | 31. 7. 11 | 4ヶ月 | 11 | 脚気治療のため帰省中、31. 7. 15死亡。 |
| 144 | 助福 | 11 | 31. 2. 25 | 32. 4. 15か | 1年1ヶ月か | 8 | 退院理由不明。32. 4. 15、一週間の帰宅を許されたのち、記載なし(情願退院か)。 |
| 145 | 尽性 | 17 | 31. 3. 14 | 32. 1. 22 | 10ヶ月 | 10 | 依頼主からの情願(家事上の都合)により退院許可。 |
| 146 | 清衡 | 16 | 31. 3. 16 | 33. 4. 24 | 2年1ヶ月 | 5 | 改善退院か。 |
| 147 | 学正 | 18 | 31. 3. 17 | 32. 4. 3 | 1年 | 8 | 病気療養のため。 |
| 148 | 以学 | 15 | 31. 3. 30 | 33. 5. 24 | 2年2ヶ月 | 5 | 33. 5. 24一週間の予定で帰宅のまま帰院せず、行方不明。33. 10. 31未感化生と認める。 |
| 149 | 道厳 | 17 | 31. 4. 1 | 32. 9. 29 | 1年6ヶ月 | 8 | 満期退院。 |
| 150 | 貴当 (二代目) | 16 | 31. 4. 4 | 31. 5. 5 | 1ヶ月 | 12 | 31. 5. 5脱院のまま帰院せず、無見込退院(32. 6. 16)。 |
| 151 | 求心 (初代) | 14 | 31. 5. 2 | 32. 9. 1 | 1年4ヶ月 | 7 | 転地療養のため。 |
| 152 | 慎微 | 8 | 31. 5. 3 | 32. 9. 29 | 1年4ヶ月 | 8 | 依頼主からの請願により退院許可。 |
| 153 | 安養 | 10 | 31. 5. 6, 34. 5. 27 | 33. 6. 19, 37. 1. 22 | 2年1ヶ月 (通算4年 8ヶ月) | 8, (8) | 東京市養育院感化部開設により、移転。34. 5. 27再入院の後、37. 1. 22脱院し、東京市養育院に赴く。 |
| 154 | 忠常 | 12 | 31. 5. 10 | 33. 11. 22 | 2年6ヶ月 | 5 | 親看護のため、退院許可。 |
| 155 | 如陽 | 14 | 31. 5. 10 | 33. 2. 19 | 1年9ヶ月 | 6 | 陸軍幼年学校へ入学のためか(32. 12. 23の日誌参照)。 |
| 156 | 存理 | 14 | 31. 5. 11 | 33. 6. 17か | 2年1ヶ月 | 8 | 33. 6. 17脱院のまま帰院せず、無見込退院か。 |
| 157 | 慎明 | 21 | 31. 5. 16 | 32. 7. 12 | 1年1ヶ月 | 7 | 依頼主からの請願により退院許可。 |
| 158 | 正瞭 | 15 | 31. 6. 1 | 31. 11. 24 | 5ヶ月 | 10 | 実母看護のため帰省を許可するも、実母死亡により情願退院。 |
| 159 | 貴順 | 15 | 31. 6. 28 | 32. 6. 4 | 11ヶ月 | 8 | 依頼主からの請願により退院許可。 |

| No. | 感化号 | 入院時 年齢 | 入院日 | 退院日 | 在院期間 | 退院時 等級 | 退院理由, 退院後の行状, 等 |
|-----|-----|-----------|---------------------------------|--------------------------------|-----------------------|------------|--|
| 160 | 近勇 | 15 | 31. 6. 28, 33. 11. 21 (再) | 32. 4. 29, 35. 11. 2 (再) | 10ヶ月 (通算3年 9ヶ月) | 9, 5(再) | 32. 4. 29 満期退院。33. 11. 21 再入院。 35. 11. 2 無見込退院か。(近勇は実家へ引 取方照会せしを以て処分せず) |
| 161 | 習行 | 15 | 31. 6. 30 | 31. 10. 12 | 3ヶ月 | 11 | 依頼主からの情願(家事上の都合)により 退院許可。 |
| 162 | 誠恕 | 13 | 31. 7. 1 | 33. 1. 13 | 1年6ヶ月 | 7 | 退院理由不明(満期退院か)。 |
| 163 | 琢磨 | 16 | 31. 7. 8 | 32. 2. 28 | 7ヶ月 | 10 | 依頼主からの請願により退院許可。 |
| 164 | 道行 | 13 | 31. 7. 12 | 31. 8. 12 | 1ヶ月 | 12 | 脱院のまま帰院せず, 行方不明のため無 見込退院。 |
| 165 | 交信 | 16 | 31. 7. 14 | 不明 (33. 8. 17 時点で在 院) | 不明(2年 1ヶ月以上) | 8 | 退院理由不明(情願退院か)。 |
| 166 | 義道 | 不明 | 31. 7. 17 | 33. 4. 6 | 1年9ヶ月 | 7 | 33. 3. 28「義道の眼病は河村族長の報告に よれば保静痲疾の膿汁をもらい受, 眼に 注入して故意に作したること明かなれば 赤十字社へ往きて受診することを禁ず」 33. 4. 6 無見込退院を命じる。 |
| 167 | 廉威 | 15 | 31. 8. 29 | 不明 (33. 1. 8時 時点で在 院) | 不明(1年 4ヶ月以上) | 7か | 退院理由不明。 |
| 168 | 義敬 | 9 | 31. 9. 5 | 32. 9. 9 | 2年 | 8 | 依頼主からの請願により退院許可。 |
| 169 | 存養 | 14 | 31. 10. 11 | 33. 3. 8 | 1年5ヶ月 | 8 | 依頼主からの情願(家事上の都合)により 退院許可。 |
| 170 | 周徳 | 不明 | 31. 10. 31 | 33. 10. 21 | 1年11ヶ月 | 5 | 改善退院。 |
| 171 | 洗格 | 14 | 31. 11. 7 | 33. 10. 27 | 1年11ヶ月 | 5 | 改善退院。 |
| 172 | 定静 | 不明 | 31. 11. 11 | 33. 10. 31 | 1年11ヶ月 | 8 | 依頼主からの請願により退院許可。 |
| 173 | 修正 | 15 | 31. 12. 18 | 32. 8. 29 | 8ヶ月 | 10 | 依頼主からの情願(家事上の都合)により 退院許可。 |
| 174 | 習治 | 17 | 31. 12. 23 | 33. 1. 15 | 1年(実質 8ヶ月) | 9 | 32. 5. 10～9. 23 まで転地療養(眼病か)。退 院理由不明。 |
| 175 | 恭忠 | 16 | 31. 12. 30 | 33. 2. 22 | 1年1ヶ月 | 10 | 退院理由不明。 |

※ 引用史料の一部には, 現代の観点からは不適切な表現が含まれるが, 史実
の解明のため, そのまま引用した。

〈表7〉東京感化院昇等記録〔明治27～31年〕

(2009年1月作成)

明治27年昇等記録 (表中の漢数字は等級。年齢は元日時点、新入者にかぎり入院時点、空欄は不明)

| 号称 | 年齢 | 入院年月日 | 昇等日付 | 4/9 | 4/16 | 5/18 | 6/11 | 6/18 | 7/7 | 7/25 | 8/30 | 8/27 | 9/7 | 9/30 | 10/10 | 10/25 | 11/12 | 11/26 | 12/3 | 12/7 | 12/28 | | | |
|-------|----|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|--|
| 1 正巳 | 16 | 21.10.27 | 前年末 | 2/26 | 3/15 | 4/9 | 4/16 | 5/18 | 6/11 | 6/18 | 7/7 | 7/25 | 8/30 | 8/27 | 9/7 | 9/30 | 10/10 | 10/25 | 11/12 | 11/26 | 12/3 | 12/7 | 12/28 | |
| 2 正巳 | 幼 | 23.4以前 | 一 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 仁至 | 22 | 23.4頃 | 四 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | |
| 4 善達 | 19 | 23.11.6 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | |
| 5 復言 | 15 | 23.12頃 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | |
| 6 實之 | 18 | 24.2.16 | 四 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 四道 | 24 | 24.7.4 | 三 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | |
| 8 先行 | 19 | 24.9頃 | 三 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | |
| 9 永佩 | 15 | 24.10.11 | 七 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | |
| 10 三道 | 18 | 24.10頃 | 四 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | |
| 11 李道 | 18 | 25.1.9 | 四 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | |
| 12 連徳 | 17 | 25.1.30頃 | 九 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | |
| 13 順行 | 22 | 25.5.16 | 四 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | |
| 14 惟教 | 幼 | 25.5.16 | 六 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | |
| 15 不忌 | 幼 | 25.5以前 | 七 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | |
| 16 慎言 | 20 | 25.6.21 | 九 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | |
| 17 洗心 | 17 | 25.7.21 | 七 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | |
| 18 蓮也 | 20 | 25.7.24 | 九 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | |
| 19 無波 | 16 | 25.9.2 | 六 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | |
| 20 親哉 | 26 | 25.9.2 | 七 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | |
| 21 立誠 | 18 | 25.9.2 | 七 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | |
| 22 時中 | 17 | 25.11頃 | 七 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | |
| 23 貞而 | 19 | 26.4.21 | 八 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | |
| 24 省吾 | 16 | 26.4頃 | 九 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | |
| 25 得之 | 13 | 26.5頃 | 九 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | |
| 26 恵明 | 13 | 26.6.15 | 九 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | |
| 27 有言 | 22 | 26.6.15 | 九 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | |
| 28 敬孝 | 17 | 26.6頃 | 九 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | |
| 29 以俊 | 20 | 26.7.24 | 十 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | |
| 30 任賢 | 15 | 26.7.24 | 十 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | |
| 31 則正 | 12 | 26.9.8 | 十 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | |
| 32 為功 | 20 | 26.9.8 | 十 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | |
| 33 衆善 | 20 | 26.10.31 | 十 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | |
| 34 信則 | 16 | 26.10.31 | 十 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | |
| 35 以文 | 18 | 26.10.31 | 十 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | |
| 36 齊省 | 12 | 26.12.16 | 十二 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | |
| 37 有終 | 15 | 26.12.28 | 十二 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | 十一 | |
| 38 成徳 | 15 | 27.1.29 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | |
| 39 直諒 | 23 | 27.1.30 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | |
| 40 正恭 | 11 | 27.2.24 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | |
| 41 久教 | 18 | 27.3.8 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | |
| 42 誠存 | 10 | 27.4.15 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | 入院 | |

| 明治28年昇等記録 (表中の漢数字は等級。年齢は元日時点、新入者にかぎり入院時点、空欄は不明) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------|----------|-----|-------|------|-----|------|------|-----|------|------|-----|------|------|-----|-----|-----|------|------|-------|-------|--|
| 号称 | 年齢 | 入院年月日 | 前年末 | 昇等式日付 | | | 2/10 | 2/18 | 4/1 | 4/24 | 5/14 | 6/7 | 6/22 | 7/24 | 8/2 | 8/9 | 9/2 | 10/8 | 11/7 | 11/25 | 12/28 | |
| | | | | 1/8 | 1/19 | 2/9 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 先思 幼 | 23.4以前 | 一 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 仁至 三 | 23.4頃 | 二 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 復言 七 | 23.12頃 | 八 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | 不烈 五 | 25.5以前 | 四 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 時中 四 | 25.11頃 | 三 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | 貞而 三 | 26.4.21 | 二 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | 得之 四 | 26.5頃 | 三 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | 思明 六 | 26.6.15 | 五 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | 創正 五 | 26.9.8 | 四 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 信則 六 | 26.10.31 | 五 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | 齊省 六 | 26.12.16 | 六 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | 有終 七 | 26.12.28 | 七 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | 正恭 八 | 27.2.24 | 八 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 14 | 久敬 八 | 27.3.8 | 八 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | 誠存 十 | 27.4.15 | 八 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 | 有定 十一 | 27.4.16 | 十一 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17 | 敬則 九 | 27.5.3 | 九 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 18 | 從善 九 | 27.5.16 | 十 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 19 | 全交 十 | 27.7.3 | 十 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 20 | 有常 十一 | 27.7.4 | 十一 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 21 | 近信 十 | 27.7.29 | 十 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 22 | 正容 十 | 27.8.23 | 十 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 23 | 用道 十一 | 27.8.27 | 十一 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 24 | 智巴 十一 | 27.9頃 | 十一 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 25 | 行恭 十一 | 27.9頃 | 十一 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 26 | 篤敬 十一 | 27.10.24 | 十一 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 27 | 友直 十一 | 27.10頃 | 十一 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 28 | 学知 十一 | 27.10頃 | 十一 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 29 | 敬順 十一 | 27.11頃 | 十一 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 30 | 信好 十一 | 28.3頃 | 十一 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 31 | 性近 九 | 28.3.10頃 | 九 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 32 | 求之 九 | 28.4.4 | 九 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 33 | 何言 九 | 28.4.9 | 九 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 34 | 不驕 九 | 28.4.28 | 九 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 35 | 直昂 九 | 28.5.7 | 九 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 36 | 合直 九 | 28.5.17 | 九 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 37 | 礼心 九 | 28.6.1 | 九 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 38 | 誠運 十 | 28.6.5 | 十 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----------|----|----|--|--|----|--|--|--|--|----|
| 39 | 自得 | 13 | 28.6.17 | 入院 | | | | | | | | | |
| 40 | 以謙 | 11 | 28.7.5 | 入院 | | | | | | | | | |
| 41 | 寬容 | 13 | 28.8.13 | | | | | | | | | | |
| 42 | 求道 | 15 | 28.8.14 | | | | | | | | | | |
| 43 | 心靜 | 12 | 28.8.16 | | 入院 | | | | | | | | + |
| 44 | 順至 | 23 | 28.8以前 | | 入院 | | | | | | | | |
| 45 | 厚載 | 15 | 28.9.8 | | 入院 | | | | | | | | |
| 46 | 恒敬 | 13 | 28.10.2 | | 入院 | | | | | | | | |
| 47 | 有得 | 13 | 28.10.4 | | 入院 | | | | | | | | 十一 |
| 48 | 修教 | 13 | 28.10.6 | | 入院 | | | | | | | | 十一 |
| 49 | 達道 | 17 | 28.10.18 | | 入院 | | | | | | | | |
| 50 | 博厚 | 11 | 28.12.1 | | | | | 入院 | | | | | 入院 |

| 明治29年昇等記録 (表中の漢数字は等級、年齢は元日時点、新入者にかぎり入院時点、空欄は不明) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----|--------|----------|-------|------|------|-----|-----|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|---------|
| 号 | 名称 | 年齢 | 入院年月日 | 昇等式日付 | | | | 3/7 | 3/28 | 4/14 | 5/11 | 6/8 | 6/15 | 7/10 | 7/26 | 8/19 | 8/20 | 9/16 | 10/5 | 10/21 | 11/14 | 12/14 |
| | | | | 1/4 | 1/24 | 2/24 | 前年末 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 先思 | 23.4以前 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 仁至 | 24 | 23.4擧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 復言 | 17 | 23.12頃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | 不忌 | 幼 | 25.5以前 | | | | | | 三 | | | | | | | | | | | | | 12.20退院 |
| 5 | 得之 | 15 | 26.5頃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | 皇明 | 15 | 26.6.15 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | 則正 | 26.9.8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | 正恭 | 13 | 27.2.24 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | 從善 | 14 | 27.5.16 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 有常 | 12 | 27.7.4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | 近信 | 14 | 27.7.29 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | 智円 | 19 | 27.9頃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | 学知 | 14 | 27.10頃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 14 | 敬順 | 17 | 27.11頃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | 信好 | 14 | 28.3頃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 | 求之 | 14 | 28.4.4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17 | 何言 | 幼 | 28.4.9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 18 | 不勝 | 16 | 28.4.28 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 19 | 直皇 | 16 | 28.5.7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 20 | 合宜 | 15 | 28.5.17 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 21 | 礼心 | 18 | 28.6.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 22 | 誠運 | 12 | 28.6.5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 23 | 自博 | 14 | 28.6.17 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 24 | 以勝 | 12 | 28.7.5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 25 | 寛容 | 14 | 28.8.13 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 26 | 求道 | 16 | 28.8.14 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 27 | 心静 | 13 | 28.8.16 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 28 | 順至 | 23 | 28.8以前 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 29 | 厚載 | 16 | 28.9.8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 30 | 恒敬 | 14 | 28.10.2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 31 | 有敬 | 14 | 28.10.4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 32 | 修孝 | 14 | 28.10.6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 33 | 達通 | 18 | 28.10.18 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 34 | 博厚 | 12 | 28.12.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 35 | 好謙 | 18 | 29.1.28 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 36 | 敬信 | 9 | 29.2.22 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 37 | 自達 | 14 | 29.2.25 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 38 | 養孝 | 14 | 29.3.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 39 | 時信 | 18 | 29.4.18 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 40 | 敬愛 | 15 | 29.4.21 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 41 | 希賢 | 15 | 29.5.6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 42 | 生知 | 11 | 29.5.13 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 43 | 尚徳 | 11 | 29.5.16 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----------|----|--|----|----|-------|--|----|----------------------|
| 44 | 礼行 | 18 | 29.6.16 | 入院 | | | 十一 | | | | |
| 45 | 直報 | 17 | 29.6.16 | 入院 | | | 十一 | 九(抜權) | | | |
| 46 | 知好 | 12 | 29.6.21 | | | | | 十 | | | |
| 47 | 三戒 | 14 | 29.8.15 | | | | | | | | |
| 48 | 中和 | 11 | 29.8.16 | 入院 | | | | | | 十一 | |
| 49 | 字則 | 11 | 29.8.26 | 入院 | | 入院 | | | | 十一 | 12.30情願退院。30.3.13再入院 |
| 50 | 遠覺 | 15 | 29.9.5 | 入院 | | 入院 | | | | 十一 | |
| 51 | 行学 | 15 | 29.9.5 | 入院 | | 入院 | | | | 十一 | |
| 52 | 善慶 | 16 | 29.9.22 | | | | 入院 | | | 十一 | |
| 53 | 謙忍 | 11 | 29.10.2 | | | | 入院 | | | | |
| 54 | 眞明 | 11 | 29.11.5 | | | | | | | 入院 | |
| 55 | 養静 | 13 | 29.11.12 | | | | | | | 入院 | |
| 56 | 成隆 | 12 | 29.11.16 | | | | | | | | |
| 57 | 龍覚 | 17 | 29.11.19 | | | | | | | | |
| 58 | 清約 | 19 | 29.12.21 | | | | | | | | 入院。30.1.1脱院のまま退院 |

明治30年昇等記録（表中の漢数字は等級。年齢は元日時点、新入者にかざり入院時点、空欄は不明）

| 号称 | 年齢 | 入院年月日 | 前年末 | 昇等式日付 | 2/14 | 2/16 | 3/12 | 4/14 | 5/14 | 5/27 | 6/20 | 7/20 | 8/25 | 9/29 | 10/13 | 11/12 | 12/3 | 12/28 | |
|----|----|----------|-----|-------|------|------|------|-----------------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|------|-------|--|
| 1 | 先思 | 23.4以前 | 一 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 不忍 | 25.5以前 | 三 | | | | 四 | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 忠明 | 26.6.15 | 四 | | | | | 3.13等外家族。4.10退院 | | | | | | | | | | | |
| 4 | 正恭 | 27.2.24 | 四 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 従善 | 27.5.16 | 三 | | | | | 4.4退院 | | | | | | | | | | | |
| 6 | 有常 | 27.7.4 | 四 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | 近信 | 27.7.29 | 四 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | 敬順 | 27.11頃 | 三 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | 求之 | 28.4.4 | 六 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 何言 | 28.4.9 | 五 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | 不麟 | 28.4.28 | 五 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | 直泉 | 28.5.7 | 六 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | 合直 | 28.5.17 | 六 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 14 | 誠直 | 28.6.5 | 七 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | 以静 | 28.8.14 | 九 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 | 求道 | 28.8.14 | 六 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17 | 心静 | 28.8.16 | 七 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 18 | 有得 | 28.10.4 | 九 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 19 | 達道 | 28.10.18 | 七 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 20 | 博厚 | 28.12.1 | 八 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 21 | 好謙 | 29.1.28 | 八 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 22 | 敬信 | 29.2.22 | 九 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 23 | 自道 | 29.2.25 | 八 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 24 | 養孝 | 29.3.1 | 十 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 25 | 時省 | 29.4.18 | 九 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 26 | 敬愛 | 29.4.21 | 九 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 27 | 生知 | 29.5.13 | 十 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 28 | 尚徳 | 29.5.16 | 十 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 29 | 礼行 | 29.6.16 | 十一 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 30 | 直報 | 29.6.16 | 九 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 31 | 知好 | 29.6.21 | 十 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 32 | 三戒 | 29.8.15 | 十一 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 33 | 中和 | 29.8.16 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 34 | 宇則 | 29.8.26 | 十二 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 35 | 達臺 | 29.9.5 | 十一 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 36 | 行学 | 29.9.5 | 十一 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 37 | 善慶 | 29.9.22 | 十一 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 38 | 謙忍 | 29.10.2 | 十二 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 39 | 寛明 | 29.11.5 | 十二 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 40 | 養静 | 29.11.12 | 十三 | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 明治31年昇等記録 (表中の漢数字は等級、年齢は五日時点、新入者にかぎり入院時点、空欄は不明) | | 昇等式日付 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----|----------|-----|------|------|------|------|------|--------|-----|-----|------|--------|------|------|------|-------|---------|-------|--------|
| 号称 | 年齢 | 入院年月日 | 前年末 | 1/14 | 1/16 | 1/28 | 2/17 | 3/19 | 4/22 | 5/1 | 5/4 | 5/30 | 6/30 | 7/31 | 8/30 | 9/29 | 10/30 | 11/30 | 12/28 | |
| 1 | 先恩 | 23.4以前 | 一 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 不忌 | 25.5以前 | 二 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 有常 | 27.7.4 | 八 | | | | | | 4.21退院 | | | | | | | | | | | |
| 4 | 近信 | 27.7.29 | 三 | | | | | | 4.27退院 | | | | | | | | | | | |
| 5 | 敬順 | 27.11頃 | 五 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | 何言 | 28.4.9 | 四 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | 合宣 | 28.5.17 | 五 | | | | | | | | | | | | | | | 11.30退院 | | |
| 8 | 誠運 | 28.6.5 | 四 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | 心静 | 28.8.16 | 五 | | | | | | | | | | | 三 | | | | | | |
| 10 | 友得 | 28.10.4 | 六 | | | | | | | | | | | | | | | | | 12.1退院 |
| 11 | 達道 | 28.10.18 | 四 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | 博厚 | 28.12.1 | 六 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | 好謙 | 29.1.28 | 六 | | | | | | 4.24退院 | | | | | | | | | | | |
| 14 | 敬信 | 29.2.22 | 六 | | | | | | | | | | 6.24退院 | | | | | | | |
| 15 | 養孝 | 29.3.1 | 六 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 | 時省 | 29.4.18 | 六 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17 | 敬愛 | 29.4.21 | 五 | | | | | | | | | | | | | | | | | 7.24退院 |
| 18 | 生知 | 29.5.13 | 六 | | | | | | 五 | | | | | | | | | | | |
| 19 | 尚徳 | 29.5.16 | 七 | | | | | | 六 | | | | | | | | | | | 9.29退院 |
| 20 | 知好 | 29.6.21 | 六 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 21 | 三戒 | 29.8.15 | 八 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 22 | 中和 | 29.8.16 | 八 | | | | | | 七 | | | | | | | | | | | |
| 23 | 孝則 | 29.8.26 | 八 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 24 | 行孝 | 29.9.5 | 六 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 25 | 善慶 | 29.9.22 | 七 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 26 | 真明 | 29.11.5 | 九 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 27 | 養静 | 29.11.12 | 八 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 28 | 成隣 | 29.11.16 | 八 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 29 | 謙意 | 29.11.19 | 八 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 30 | 保真 | 30.1.17 | 八 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 31 | 養直 | 30.2.16 | 八 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 32 | 存直 | 30.2.18 | 八 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 33 | 重蔵 | 30.2.22 | 八 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 34 | 養善 | 30.3.5 | 八 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 35 | 善修 | 30.3.11 | 八 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 36 | 照得 | 30.3.12 | 八 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 37 | 成隣 | 30.4.6 | 九 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 38 | 隆遠 | 30.4.15 | 九 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 39 | 篤行 | 30.5.1 | 十 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 40 | 達定 | 30.5.7 | 九 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 41 | 信勇 | 30.5.10 | 六 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 42 | 順則 | 30.5.24 | 十 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 43 | 徳謙 | 30.6.4 | 十 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 44 | 知賢 | 30.6.18 | 十 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 45 | 良精 | 30.6.21 | 十一 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 46 | 直養 | 30.7.3 | 十一 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 47 | 謙勝 | 30.7.5 | 十 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----------|----|-----------|--|--|---|---|---|---|---|--|--|--|--|--|--|---------|
| 48 | 禧示 | 16 | 30.8.2 | 十二 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 49 | 晴善 | 18 | 30.8.8 | 十一 | 十 | | | | | | | | | | | | | | |
| 50 | 徳新 | 16 | 30.8.8 | 十二 | | | | 九 | 八 | 七 | 七 | 七 | | | | | | | |
| 51 | 行通 | 16 | 30.9.2 | 十二 | 十 | | | | | | | | | | | | | | |
| 52 | 祐明 | 16 | 30.9.25 | 十二 | 十一 | | | | | | | | | | | | | | |
| 53 | 孝要 | 17 | 30.10.9 | 十二 | 十一 | | | | | | | | | | | | | | |
| 54 | 信義 | 11 | 30.10.13 | 十二 | 十一 | | | | | | | | | | | | | | |
| 55 | 宗俊 | 20 | 30.10.15 | 十二 | 十一 | | | | | | | | | | | | | | |
| 56 | 安正 | 11 | 30.10.19 | 十二 | 十一 | | | | | | | | | | | | | | |
| 57 | 宗和 | 10 | 30.11.21 | 十二 | 十一 | | | | | | | | | | | | | | |
| 58 | 俊養 | 13 | 30.12.1 | 十二 | 十一 | | | | | | | | | | | | | | |
| 59 | 明篤 | 16 | 30.12.14 | 十二 | 十一 | | | | | | | | | | | | | | |
| 60 | 行成 | 18 | 30.12.23 | 十二 | 十一 | | | | | | | | | | | | | | |
| 61 | 謙受 | 16 | 31.1.8 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 62 | 廣道 | 16 | 31.1.14 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 63 | 直光 | 13 | 31.1.29 | 十二 | 入院七(別科繰入) | | | | | | | | | | | | | | |
| 64 | 井光 | 27 | 31.2.18 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 65 | 近道 | 15 | 31.2.24 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 66 | 助道 | 11 | 31.2.25 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 67 | 房生 | 17 | 31.3.14 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 68 | 清衡 | 16 | 31.3.16 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 69 | 字正 | 18 | 31.3.17 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 70 | 以字 | 15 | 31.3.30 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 71 | 連殿 | 17 | 31.4.1 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 72 | 真当 | 16 | 31.4.4 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 73 | 求心 | 14 | 31.5.2 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 74 | 實敏 | 8 | 31.5.3 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 75 | 安養 | 10 | 31.5.6 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 76 | 品常 | 12 | 31.5.10 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 77 | 如陽 | 14 | 31.5.10 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 78 | 存理 | 14 | 31.5.11 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 79 | 權明 | 21 | 31.5.16 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 80 | 正敏 | 15 | 31.6.10 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 81 | 善順 | 15 | 31.6.28 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 82 | 近勇 | 15 | 31.6.28 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 83 | 善行 | 15 | 31.6.30 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 84 | 謙忍 | 13 | 31.7.1 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 85 | 球磨 | 16 | 31.7.8 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 86 | 連行 | 13 | 31.7.12 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 87 | 文信 | 16 | 31.7.14 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 88 | 義道 | 少 | 31.7.17 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 89 | 廣威 | 15 | 31.8.29 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 90 | 義敏 | 9 | 31.9.5 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 91 | 存兼 | 14 | 31.10.11 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 92 | 圓徳 | 幼 | 31.10.31 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 93 | 茂格 | 14 | 31.11.7 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 94 | 安静 | 14 | 31.11.11 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 95 | 俊正 | 15 | 31.12.18 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 96 | 重治 | 17 | 31.12.23 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | |
| 97 | 宗忍 | 16 | 31.12.30 | 十二 | 入院 | | | | | | | | | | | | | | 12.30入院 |

